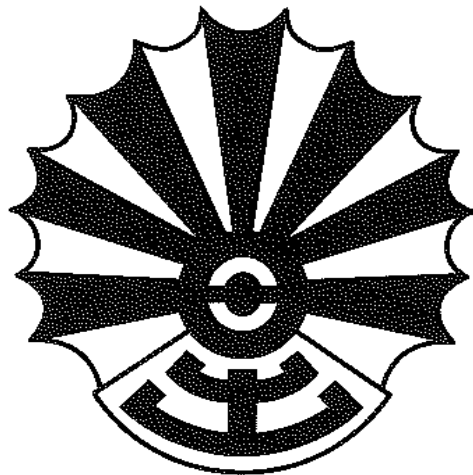


令和 8 年度

教育課程



大分県立日出支援学校

目 次

I 学校経営

1 教育方針	・・・ P 1
(1) 学校教育目標	
(2) 校訓	
(3) めざす児童生徒像	
(4) 中期目標	
(5) 本年度の重点目標	
2 各学部教育目標	・・・ P 2
(1) 小学部	
(2) 中学部	
(3) 高等部	
3 教育課程の概要及び構造	
(1) 教育課程編成の方針	
(2) 構造図	・・・ P 3
4 校時表	・・・ P 4

II 小学部教育課程

1 指導の形態別授業時数	
(1) 単一障がい学級	・・・ P 5
(2) 重複障がい学級	
(3) 訪問教育学級	
2 道徳科指導計画	・・・ P 6
3 特別活動の指導計画	
(1) 学級活動指導計画	・・・ P 7
(2) 児童生徒会活動指導計画	・・・ P 8
(3) 学校行事の指導計画	・・・ P 9
4 自立活動指導計画	・・・ P 10
5 交流及び共同学習指導計画	・・・ P 11

III 中学部教育課程

1 指導の形態別授業時数	
(1) 単一障がい学級	・・・ P 13
(2) 重複障がい学級	
(3) 訪問教育学級	
2 道徳科指導計画	・・・ P 14
3 特別活動の指導計画	
(1) 学級活動指導計画	・・・ P 15
(2) 児童生徒会活動指導計画	・・・ P 17
(3) 学校行事の指導計画	・・・ P 18
4 自立活動指導計画	・・・ P 19
5 総合的な学習の時間指導計画	・・・ P 20
6 交流及び共同学習指導計画	・・・ P 21
7 産業現場等における実習指導計画	・・・ P 23

IV 高等部教育課程

1	指導の形態別授業時数	
	(1) 職業生活科	・・・ P 2 4
	(2) 生活教養科	
	(3) 訪問教育学級	
2	道徳科指導計画	・・・ P 2 5
3	特別活動の指導計画	
	(1) ホームルーム活動指導計画	・・・ P 2 6
	(2) 児童生徒会活動指導計画	・・・ P 2 7
	(3) 学校行事の指導計画	・・・ P 2 8
4	自立活動指導計画	・・・ P 2 9
5	総合的な探究の時間指導計画	・・・ P 3 0
6	交流及び共同学習指導計画	・・・ P 3 1
7	産業現場等における実習指導計画	・・・ P 3 2

V	道徳教育の全体計画	・・・ P 3 3
---	-----------	-----------

VI	キャリア教育の全体計画	・・・ P 3 5
----	-------------	-----------

VII	基本日課表	・・・ P 3 7
-----	-------	-----------

VIII	人権教育年間計画	・・・ P 4 6
------	----------	-----------

IX	食に関する指導の全体計画	・・・ P 4 8
----	--------------	-----------

I 学校経営

1 教育方針

(1) 学校教育目標

本校の教育目標は、児童生徒一人一人の尊厳を重んじ、発達段階や特性等に応じて、持てる力を最大限に伸ばし、主体的に学びに向かい、生きる力を備えた児童生徒の育成に努めることをめざして次のように設定する。

○主体的に自ら生きる力を備えた、心豊かで積極的に社会参加・自立をめざす児童生徒の育成

(2) 校訓

「元気よく みんななかよく がんばる」

(3) めざす児童生徒像

- ◆元気に活動し、自分でできることは自分でする児童生徒
- ◆自分の考えや気持ちを伝え、友だちと仲良くする児童生徒
- ◆力いっぱい最後までがんばる児童生徒

めざす児童生徒像	めざす児童生徒像の指標	卒業までに身につけたい力
元気に活動する	①必要な体力を身につける ②活動や作業に対する意欲がある ③自己統制ができる ④情緒が安定している	・働く意欲・体力 ・整理整頓、準備片付け
自分のことは自分でする	①身近自立ができています (衣服の着脱・排泄・食事) ②整理整頓ができる ③活動や作業の準備や片付けができる	
自分の考えや気持ちを伝える	①伝えようとする意欲がある ②伝えるための手段を身につける ③正しい言葉遣いができる	・相手に伝わる挨拶 ・「困り」等を伝える
友だちと仲良くする	①挨拶や返事ができる ②相手の話(指示)を聞く ③協調性がある	
力いっぱいがんばる	①作業に対する熱意がある ②順応性がある ③集中力、持続力がある ④確実な作業ができる	・働く意欲・体力 ・「困り」等を伝える
最後までがんばる	①指示が理解できる ②判断力がある ③時間を守る ④能率を考えて作業する	

(4) 中期目標

- ①安全・安心・信頼できる学校づくりを目指す。
- ②家庭・地域・関係機関との連携をより一層推進する。
- ③卒業後の子どもの就労保障及び生活保障に努める。

(5) 本年度の重点目標

- ①児童生徒が、自立や社会参加のために必要な資質・能力を身につける。
- ②安全・安心・信頼できる学校づくりのために、各分掌が目標を立てて取り組む。
- ③学校運営協議会の基礎を作る。

2 各学部の教育目標

(1) 小学部

- ①健康で安全な生活を送り、自分でできることは自分でする。
- ②いろいろな活動や行事に参加し、教師や友だちに自分の思いや気持ちを伝える。
- ③身の回りのことや係仕事などに進んで取り組む。

(2) 中学部

- ①健康や安全に気をつけ、身の回りのことにきちんと取り組む。
- ②集団活動に参加し、自分の考えや気持ちを伝え合い、自分の役割に応じて活動する。
- ③職業生活に目を向け、仕事や学習に最後まで取り組む。

(3) 高等部

- ①健康や安全に留意し、よりよい日常生活を送る。
- ②集団活動の中で自他を認め合い、互いの考えや心情を正しく伝え合う。
- ③職業生活や社会生活を見据え、自らの課題に気づき、その解決に取り組む。

3 教育課程の概要及び構造

(1) 教育課程編成の方針

- ア 児童生徒の生きる力を育むことをめざし、障がいの状態、発達段階等を考慮して、発展的・系統的な指導が行えるように編成する。
- イ 小学部の1単位時間は45分とし、中学部、高等部の1単位時間は50分とする。ただし、中学部の1校時目は55分、高等部の1校時目は60分とする。
- ウ 児童生徒の実態に応じて、各教科等を合わせた指導を取り入れて編成する。
- エ 道徳科については、特別の教科道徳の時間に内容を取り扱うとともに、学校の教育活動全体を通して行う。
- オ 小学部、中学部、高等部の訪問教育学級においては、生活単元学習及び自立活動を主とした指導を行う。
- カ 授業時数については、次の3類型を基本とする。

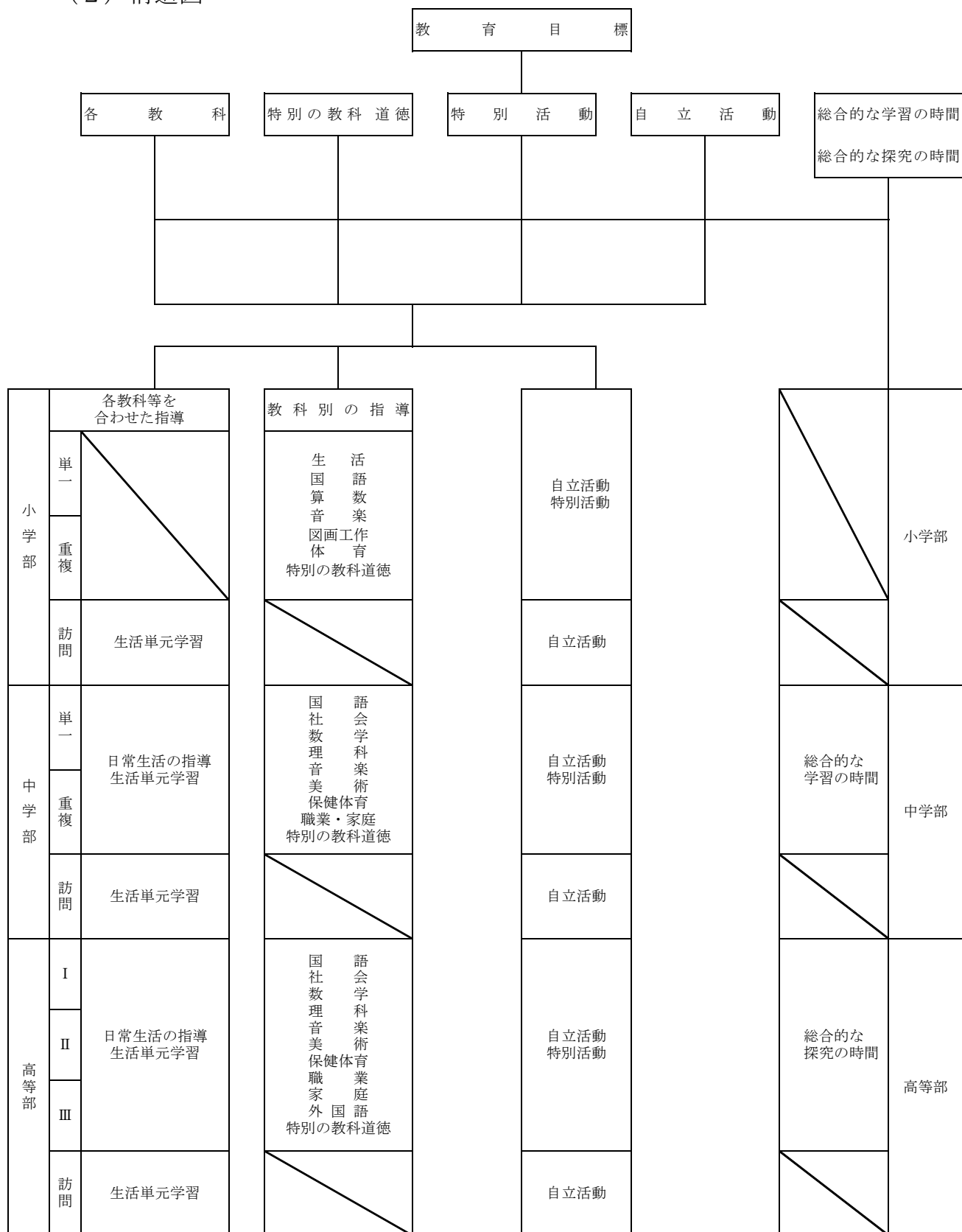
小・中学部

児童生徒の実態に応じて教科別や各教科等を合わせた指導、自立活動の指導を行う教育課程	① 単一障がい学級
自立活動を中心とする教育課程	② 重複障がい学級A
	③ 重複障がい学級B

高等部

教科別の指導を中心に、各教科等を合わせた指導、自立活動の指導を行う教育課程	I 課程
生徒の実態に応じて、各教科等を合わせた指導、教科別の指導、自立活動の指導を行う教育課程	II 課程
自立活動を中心に、各教科等を合わせた指導、教科別の指導を行う教育課程	III 課程

(2) 構造図



4 校時表

	小学部	中学部	高等部
1 校 時	8 : 5 0 ~ 9 : 3 5	8 : 5 0 ~ 9 : 2 0 9 : 2 0 ~ 9 : 4 5	8 : 4 5 ~ 9 : 1 0 9 : 1 0 ~ 9 : 4 5
2 校 時	9 : 4 5 ~ 1 0 : 3 0	9 : 5 0 ~ 1 0 : 4 0	9 : 5 0 ~ 1 0 : 4 0
3 校 時	1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 2 5	1 0 : 4 5 ~ 1 1 : 3 5	1 0 : 4 5 ~ 1 1 : 3 5
4 校 時	1 1 : 3 5 ~ 1 2 : 2 0	1 1 : 4 0 ~ 1 2 : 3 0	1 1 : 4 0 ~ 1 2 : 3 0
給食・昼休み	1 2 : 2 0 ~ 1 3 : 1 5	1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 1 5	1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 1 5
5 校 時	1 3 : 1 5 ~ 1 4 : 0 0	1 3 : 1 5 ~ 1 4 : 0 5	1 3 : 1 5 ~ 1 4 : 0 5
6 校 時	1 4 : 1 0 ~ 1 4 : 5 5	1 4 : 1 0 ~ 1 5 : 0 0	1 4 : 1 0 ~ 1 5 : 0 0
帰 り の 会	(4校時後) 1 3 : 1 5 ~ 1 3 : 3 0		
	(5校時後) 1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 1 5	(5校時後) 1 4 : 0 5 ~ 1 4 : 1 5	(5校時後) 1 4 : 1 0 ~ 1 4 : 1 5
	(6校時後) 1 4 : 5 5 ~ 1 5 : 1 0	(6校時後) 1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 1 0	(6校時後) 1 5 : 0 5 ~ 1 5 : 1 0

《 下 校 時 刻 》

月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
小 1	13:30	小 1	14:15	小 1	13:30	小 1	14:15	小 1	14:15
小 2	14:15	小 2		小 2		小 2		小 2	
小 3		小 3		小 3		小 3		小 3	
小 4		小 4		小 4	14:15	小 4		小 4	15:10
小 5		小 5		小 5		小 5		小 5	
小 6		小 6		小 6		小 6		小 6	
中 1	15:15	中 1	14:20	中 1	14:20	中 1	15:15	中 1	15:15
中 2		中 2		中 2		中 2		中 2	
中 3		中 3		中 3		中 3		中 3	
高 1		高 1		高 1	15:15	高 1		高 1	
高 2		高 2		高 2		高 2		高 2	
高 3		高 3		高 3		高 3		高 3	

《 スクールバス発車時刻 》

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
15:15	14:20	15:15	15:15	15:15

Ⅱ 小学部教育課程

1 指導の形態別授業時数

(1) 単一障がい学級

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科等を含 合わせた 指導	日常生活の指導	—	—	—	—	—	—	
	遊びの指導	—	—	—	—	—	—	
	生活単元学習	—	—	—	—	—	—	
生 活		391	402.5	420	420	420	420	
国 語		102	105	140	140	140	140	
算 数		68	105	105	105	105	105	
音 楽		68	70	70	70	70	70	
図画工作		34	35	35	35	35	35	
体 育		102	105	105	105	105	105	
特別の教科 道徳		6	6	6	6	6	6	
特別活動〔学級活動〕		28	29	29	29	29	29	
自立活動		68	70	70	105	105	105	
総授業時数		867	927.5	980	1015	1015	1015	

(2) 重複障がい学級

指導の形態		1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	
各教科等を含 合わせた 指導	日常生活の指導	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	遊びの指導	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	生活単元学習	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
生 活		357	357	367.5	367.5	367.5	367.5	367.5	367.5	367.5	367.5	367.5	367.5	
国 語		102	—	105	—	140	—	140	—	140	—	140	—	
算 数		68	—	105	—	105	—	105	—	105	—	105	—	
音 楽		68	68	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	
図画工作		34	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	
体 育		102	—	105	—	105	—	105	—	105	—	105	—	
特別の教科 道徳		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
特別活動〔学級活動〕		28	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	
自立活動		102	374	105	420	122.5	472.5	157.5	507.5	157.5	507.5	157.5	507.5	
総授業時数		867	867	927.5	927.5	980	980	1015	1015	1015	1015	1015	1015	

(3) 訪問学級

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科等を含 合わせた 指導	日常生活の指導	—	—	—	—	—	—	※週2回、1回につき2単位 時間を実施。
	遊びの指導	—	—	—	—	—	—	
	生活単元学習	68	70	70	70	70	70	
生 活		0	0	0	0	0	0	
国 語		0	0	0	0	0	0	
算 数		—	—	—	—	—	—	
音 楽		0	0	0	0	0	0	
図画工作		0	0	0	0	0	0	
体 育		—	—	—	—	—	—	
特別の教科 道徳		0	0	0	0	0	0	
特別活動〔学級活動〕		0	0	0	0	0	0	
自立活動		68	70	70	70	70	70	
総授業時数		136	140	140	140	140	140	

2 道徳科指導計画

	1 ～ 3 年			4 ～ 6 年		
	題材名	内容項目	配当時間	題材名	内容項目	配当時間
4月	挨拶の大切さを知ろう	B 礼儀	1	挨拶の大切さを考えよう	B 礼儀	1
5月						
6月	「平和」について知ろう	B 友情、信頼	1	「平和」について考えよう	B 友情、信頼 D 生命の尊さ	1
7月						
8月	「きまり」を守ろう	A 節度、節制 C 規則の尊重	1	「きまり」を守ろう	A 節度、節制 C 規則の尊重	1
9月						
10月	友だちとなかよくしよう	B 友情、信頼 C よりよい学校生活、集団生活の充実	1	言葉の力について考えよう（ふわふわことばとちくちくことば）	B 礼儀	1
11月						
12月	ものを大切にしよう	A 節度、節制	1	自分ものがたり	D 生命の尊さ	1
1月						
2月	自分のいいところ	A 個性の伸長	1	みんな違ってみんないい	A 個性の伸長 C よりよい学校生活、集団生活の充実	1
3月						
	時間合計		6	時間合計		6

※内容項目の欄については、小学校学習指導要領（平成29年告示）第3章「特別の教科 道徳 第2 内容」に記載された「内容を端的に表す言葉（キーワード）」より記入。「道徳教育の全体計画」における重点項目を主に取り扱う。

※道徳科（特別の教科道徳）については、時間における指導を中心として指導するとともに、学校の教育活動全体を通じて指導を行う。

3 特別活動の指導計画

(1) 学級活動指導計画

① 目標

- ・各月の目標を学級ごとに決め、様々な活動に取り組む中で、集団の一員としての役割を自覚する意識を高め、社会参加・自立しようとする態度を育てる。
- ・学期毎の大まかな見通しを持ち、それぞれの活動に目標を持ち、意欲的に活動しようとする態度や意欲を育てる。

② 年間計画

	題 材 名	配当時間	
		1 年	2 ～ 6 年
4 月	・新学期がはじまるよ	1	1
	・入学式の練習をしよう	—	1
	・新しいクラスを知ろう	1	1
	・係の仕事やめあてをきめよう	1	1
5 月	・学部集会をしよう	1	1
6 月	・環境について考えよう	1	1
	・大神小学校と交流しよう	2	2
7 月	・給食を知ろう（食に関する指導）	1	1
	・学部集会をしよう	1	1
	・教室をきれいにしよう	1	1
	・1 学期を振り返ろう	1	1
9 月	・2 学期がはじまるよ	1	1
1 0 月	・学部集会をしよう	1	1
	・大神小学校と交流しよう	2	2
	・学習発表会がんばろう	1	1
1 1 月	・野菜を知ろう（食に関する指導）	1	1
	・学習発表会がんばったね	1	1
	・ボランティア活動をしよう	1	1
1 2 月	・学部集会をしよう	1	1
	・教室をきれいにしよう	1	1
	・2 学期を振り返ろう	1	1
1 月	・3 学期がはじまるよ	1	1
	・学部集会をしよう	1	1
2 月	・卒業式の練習をしよう	1	1
3 月	・学部集会をしよう	1	1
	・教室をきれいにしよう	1	1
	・1 年間を振り返ろう	1	1
時 間 合 計		2 8	2 9

※学級活動を基本とし、内容によっては学部合同として扱うこともある。

※学部集会では、月の誕生者の紹介、学部主事の話、行事のお知らせ（交流や避難訓練の事前学習）等について扱う。

(2) 児童生徒会活動指導計画

① 目標

- ・クラス・学年・学部を超えたグループで、様々な活動を通して望ましい人間関係を形成し、よりよい学校生活を築こうとする実践的な態度を養う。
- ・児童生徒会の一員として、きまりを理解し、お互いに協力して活動に取り組む態度を身につける。
- ・児童生徒会の一員として、自分の役割を理解し、主体的に行動する態度を身につける。

② 児童生徒会役員

- ・会長、副会長、書記を置く。会長は高等部より1名、副会長は小1名・中1名・高1名 計3名、書記は小1名、中1名、高1名 計3名とする。
- ・任期は前期（2月～7月）、後期（9月～1月）とし、4～6年から選出し、任命する。

③ 年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
活動内容	全校集会 (0. 5)	全校集会 (0. 5)	全校集会 (0. 5)	全校集会 (0. 5)		全校集会 (0. 5)
	学部集会 (0. 5)	学部集会 (0. 5)	学部集会 (0. 5)	学部集会 (0. 5)		学部集会 (0. 5)
				児童生徒会選挙 (4～6年) (2)		
配当時間	1	1	1	1 (1～3年) 3 (4～6年)	0	1

10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計
全校集会 (0. 5)	全校集会 (0. 5)	全校集会 (0. 5)	全校集会 (0. 5)	全校集会 (0. 5)	学部集会 (1)	
学部集会 (0. 5)	学部集会 (0. 5)	学部集会 (0. 5)	学部集会 (0. 5)	学部集会 (0. 5)		
	学習発表会 (学校行事)		児童生徒会選挙 (4～6年) (2)			
1	1	1	1 (1～3年) 3 (4～6年)	1	1	11 (1～3年) 15 (4～6年)

※4～6学年は中学部・高等部の児童生徒会選挙の応援演説会や投票に参加する。

(3) 学校行事の指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計					
														1年	2年	3年	4年	5年	6年
儀式的行事		始業式 【2～6年】 (1) 入学式(1)	—	—	終業式 (1)	—	始業式 (1)	—	—	終業式 (1)	始業式 (1)	—	卒業式 (2) 修了式 【1～5年】 (1)	8	9	9	9	9	8
文化的行事		—	—	—	—	—	—	—	学習発表会 (4)	—	—	—	—	4	4	4	4	4	4
健康安全・ 体育的行事		身体計測 (0.5)	心臓検診 【1年】 (1) 校医健診 (0.5) 視力・ 聴力測定 (0.5) 避難訓練 (1)	校医健診 (1)	—	—	身体計測 (0.5)	避難訓練 (1)	—	—	身体計測 (0.5) 避難訓練 (1)	—	—	7.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5
遠足・集団 宿泊的行事		—	春の遠足 (3)	校外学習 【1～3年】 (3) 【4～6年】 (5)	—	—	—	修学旅行 【5・6年】 (11)	秋の遠足 (5)	—	—	校外学習 (5)	—	16	16	16	18	29	29
勤労生産・ 奉仕的行事		—	—	—	—	—	—	—	ボランテ ィア活動 (1)	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1
時間 合計	1年	1.5	6	4	1	—	1.5	1	10	1	2.5	5	3	36.5					
	2年	2.5	5	4	1	—	1.5	1	10	1	2.5	5	3		36.5				
	3年	2.5	5	4	1	—	1.5	1	10	1	2.5	5	3			36.5			
	4年	2.5	5	6	1	—	1.5	1	10	1	2.5	5	3				38.5		
	5年	2.5	5	6	1	—	1.5	12	10	1	2.5	5	3					49.5	
	6年	2.5	5	6	1	—	1.5	12	10	1	2.5	5	2						48.5

4 自立活動指導計画

(1) 目 標

個々の児童が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

(2) 指導方針

上記目標を達成するため、児童それぞれの実態に応じて内容を選定し、個別の指導計画を作成して自立活動の時間における指導及び教育活動全般を通じて指導する。個別の指導計画の立案に当たっては、各教科、道徳科、特別活動の指導や内容との関連を明らかにし、全教師が共通の認識で指導する。自立活動の時間における指導では、それぞれの重点課題について計画的・組織的に指導する。

(3) 指導計画

＜学習の形態＞指導目標や指導内容等から、学習を「個別」また「小集団」など、主体的に取り組めるよう、適切に設定する。

＜指導内容・授業時数＞以下に示す区分の中から児童の実態に応じて、必要とする項目を選定し、それらを相互に関連づけて具体的に指導内容を設定する。自立活動の時間における指導の時間数については指導の形態別授業時数に定められた時間数を原則とする。給食については、実態や必要性に応じて「姿勢、食べ方（咀嚼、嚥下）等」の指導を自立活動の時間における指導に含める。教育活動全般において指導する内容については、「ジェスチャーを使ったコミュニケーションの取り方」「カードを使った活動の見通し」「階段の上り下りでの身体の使い方」「場面や状況に慣れて活動する」など、個別の指導計画を作成する。

区 分	指 導 の 項 目
1 健康の保持	(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること。 (3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること。 (4) 障がいの特性の理解と生活環境の調整に関すること。 (5) 健康状態の維持・改善に関すること。
2 心理的な安定	(1) 情緒の安定に関すること。 (2) 状況の理解と変化への対応に関すること。 (3) 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。
3 人間関係の形成	(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。 (4) 集団への参加の基礎に関すること。
4 環境の把握	(1) 保有する感覚の活用に関すること。 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。
5 身体の動き	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。 (3) 日常生活に必要な基本的動作に関すること。 (4) 身体の移動能力に関すること。 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。
6 コミュニケーション	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 (2) 言語の受容と表出に関すること。 (3) 言語の形成と活用に関すること。 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

(4) 指導上の配慮事項

- ・自立活動の時間における指導については個別の課題の指導を深めていくと共に、全教師が共通の認識で自立活動の指導に当たることができるよう連絡を密にする。
- ・児童の障がいの状態により、必要に応じて専門の医師及び関係者の助言を求め、適切な指導ができるようにする。
- ・児童の状態を細かく観察し、指導計画の変更も含め柔軟に対応する。

5 交流及び共同学習指導計画

(1) 学校間交流

① 目的 いろいろな集団活動を通して、互いを理解し積極的に関わろうとする態度を育てる。

② 年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間	指導の形態	具体的な内容	交流相手校名 学年等	引率 教員数
1年 ～ 6年	単重 一複 障障 がい い学 級学 級8 23名 8名	6月	2時間	学級活動 生活等	- 全体で「始まりの会」を行い、挨拶をしたり、お互いの普段の学習内容を発表したりする。 - 年間共通の活動班に分かれて、自己紹介をしたり、ゲームをしたりする。	大神小学校 4年	18名
1年 ～ 6年	単重 一複 障障 がい い学 級学 級8 23名 8名	10月	2時間	学級活動 生活等	- 全体会では、お互いの普段の学習内容を発表したり、感想を発表したりする。 - 年間共通の活動班に分かれて、児童が企画したゲームなどをする。	大神小学校 4年	なし 本校で 実施

※交流校との調整により、内容の変更もあり得る。

(2) 居住地校交流

- ① 目的 本校に在籍する児童が地域社会の一員として将来にわたり地域で生き、地域の仲間とともに育ちあえる素地を作り、豊かな人間関係を築く力を育む。

② 年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間(予定)	指導の形態	具体的な内容	交流相手校名 学年等	引率 教員数
1年	未定	10月	2時間	生活 音楽 図画工作等	・自己紹介やレクリエーションをしたり、相手校の授業に参加したりする。	未定	未定
		1月	2時間				
2年	3名(予定)	10月	2時間	生活 音楽 図画工作等	・自己紹介やレクリエーションをしたり、相手校の授業に参加したりする。	豊岡小 杵築小 安岐中央小 2年	各1名
		1月	2時間				
3年	3名(予定)	10月	2時間	生活 音楽 図画工作等	・自己紹介やレクリエーションをしたり、相手校の授業に参加したりする。	杵築小学校 国東小学校 3年	各1名
		1月	2時間				
4年	3名(予定)	10月	2時間	生活 音楽 図画工作等	・自己紹介やレクリエーションをしたり、相手校の授業に参加したりする。	日出小学校 川崎小学校 藤原小学校 4年	各1名
		1月	2時間				
5年	5名(予定)	10月	2時間	生活 音楽 図画工作等	・自己紹介やレクリエーションをしたり、相手校の授業に参加したりする。	川崎小学校 豊岡小学校 杵築小学校 安岐小学校 5年	各1名
		1月	2時間				
6年	1名(予定)	10月	2時間	生活 音楽 図画工作等	・自己紹介やレクリエーションをしたり、相手校の授業に参加したりする。	国東小学校 6年	1名
		1月	2時間				

※人数や交流相手校は、令和7年度の実績を記載。

※新年度が始まってから、居住地校交流の希望を保護者に確認する。

※希望がある場合は、相手校の担当者と打ち合わせをし、期日、時間、内容等を決定する。

Ⅲ 中学部教育課程

1 指導の形態別授業時数

(1) 単一障がい学級

指導の形態		1 年	2 年	3 年	備考
各教科等を含 合わせた 指導	日常生活の指導	140	140	140	※日常生活の指導 について ・朝の活動 (30分) ・帰りの活動 (10分)
	生活単元学習	35	35	35	
	作業学習	—	—	—	
国 語		70	70	70	
社 会		35	35	35	
数 学		70	70	70	
理 科		35	35	35	
音 楽		70	70	70	
美 術		70	70	70	
保健体育		105	105	105	
職業・家庭		203	203	203	
特別の教科 道徳		7	7	7	
特別活動/学級活動		87.5	87.5	87.5	
自立活動		70	70	70	
総合的な学習の時間		35	35	35	
総 授 業 時 数		1032.5	1032.5	1032.5	

(2) 重複障がい学級

指導の形態		1 年		2 年		3 年		備考
		A	B	A	B	A	B	
各教科等を含 合わせた 指導	日常生活の指導	140	210	140	210	140	210	※日常生活の指導 について ・朝の活動 (A:30分 B:月30分 火～金55 分) ・帰りの活動 (10分)
	生活単元学習	35	105	35	105	35	105	
	作業学習	—	—	—	—	—	—	
国 語		70	0	70	0	70	0	
社 会		35	0	35	0	35	0	
数 学		70	0	70	0	70	0	
理 科		35	0	35	0	35	0	
音 楽		70	70	70	70	70	70	
美 術		70	70	70	70	70	70	
保健体育		35	35	35	35	35	35	
職業・家庭		203	0	203	0	203	0	
特別の教科 道徳		7	7	7	7	7	7	
特別活動/学級活動		87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	
自立活動		140	413	140	413	140	413	
総合的な学習の時間		35	35	35	35	35	35	
総 授 業 時 数		1032.5	1032.5	1032.5	1032.5	1032.5	1032.5	

(3) 訪問教育学級

指導の形態		1 年	2 年	3 年	備考
各教科等を含 合わせた 指導	日常生活の指導	—	—	—	※週 2 回、1 回に つき 2 単位時間を 実施。
	生活単元学習	70	70	70	
	作業学習	—	—	—	
国 語		0	0	0	
社 会		0	0	0	
数 学		—	—	—	
理 科		0	0	0	
音 楽		0	0	0	
美 術		0	0	0	
保健体育		—	—	—	
職業・家庭		—	—	—	
特別の教科 道徳		0	0	0	
特別活動/学級活動		0	0	0	
自立活動		70	70	70	
総合的な学習の時間		—	—	—	
総 授 業 時 数		140	140	140	

2 道徳科指導計画

	1 年			2 年			3 年		
	題材名	内容項目	配当 時間	題材名	内容項目	配当 時間	題材名	内容項目	配当 時間
4 月	お互いのこ と、クラス のことを話 し合おう	B 友情、 信頼 C よりよ い学校生 活、集団 生活の充 実	1	お互いのこ と、クラス のことを話 し合おう	B 友情、 信頼 C よりよ い学校生 活、集団 生活の充 実	1	お互いのこ と、クラス のことを話 し合おう	B 友情、 信頼 C よりよ い学校生 活、集団 生活の充 実	1
5 月									
6 月	よいこと悪 いことにつ いて考えよ う	A 節度、 節制 B 礼儀	1	よいこと悪 いことにつ いて考えよ う	A 節度、 節制	1	よいこと悪 いことにつ いて考えよ う	A 節度、 節制	1
7 月									
9 月	校内の仕事 について考 えよう	C 勤労	2	仕事のやり がいや努力 について知 ろう	C 勤労	2	地域で働く 人の仕事に ついて考え よう	C 勤労	2
10 月									
11 月	健康の大切 さについて 考えよう	A 節度、 節制	1	ことば遣い について考 えよう	B 礼儀	1	命の大切さ について知 ろう	D 生命の 尊さ	1
12 月									
1 月	動植物につ いて考えよ う	D 自然愛 護	2	美しい自然 や建物を知 ろう	D 感動、 畏敬の念	2	まわりの人 の感謝の気 持ちを表そ う	B 親切、 思いやり B 感謝 B 礼儀	2
2 月									
3 月									
	時間合計		7			7			7

※内容項目の欄については、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）第 3 章「特別の教科 道徳 第 2 内
容」に記載された「内容を端的に表す言葉（キーワード）」より記入。「道徳教育の全体計画」における
重点項目を主に取り扱う。

※道徳科（特別の教科 道徳）については、時間における指導を中心として指導するとともに、学校の教
育活動全体を通じて指導を行う。

3 特別活動の指導計画

(1) 学級活動指導計画

①目標

- ・各月の目標を決めて様々な活動に取り組む中で、集団の一員としての役割を自覚する意識を高め、社会参加・自立しようとする態度を育てる。
- ・学期毎の大まかな見通しを持ち、それぞれの活動で目標を意識しながら意欲的に活動しようとする態度や意欲を育てる。

②年間計画

月	1 年		2 年		3 年	
	題材名	配当時間	題材名	配当時間	題材名	配当時間
4 月	学級開き～学校生活・1学期の行事について	6	学級開き～新学年・1学期の行事について	6	学級開き～新学年・1学期の行事について	6
	1学期の係やめあてを決めよう	2	1学期の係やめあてを決めよう	2	1学期の係やめあてを決めよう	2
	歓迎遠足に行こう	8	歓迎遠足に行こう	8	歓迎遠足に行こう	8
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5
5 月	体育発表会を成功させよう	6	体育発表会を成功させよう	6	体育発表会を成功させよう	6
	平和学習「命の大切さを知ろう」	1	平和学習「命の大切さを知ろう」	1	平和学習「命の大切さを知ろう」	1
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5
6 月	人権学習「自分を大事にしよう」	1	人権学習「自分を大事にしよう」	1	人権学習「自分を大事にしよう」	1
	食の学習①	1	食の学習①	1	食の学習①	1
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5
7 月	選挙について知ろう 児童生徒会選挙	4	選挙について知ろう 児童生徒会選挙	4	選挙について知ろう 児童生徒会選挙	4
	平和学習「命の大切さを知ろう」	1	平和学習「命の大切さを知ろう」	1	平和学習「命の大切さを知ろう」	1
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5
	サマーフェスティバルをしよう	10	サマーフェスティバルをしよう	10	サマーフェスティバルをしよう	10
	1学期の反省と夏休みについて	2	1学期の反省と夏休みについて	2	1学期の反省と夏休みについて	2
9 月	夏休みの思い出と2学期の行事について	1	夏休みの思い出と2学期の行事について	1	夏休みの思い出と2学期の行事について	1
	2学期の係やめあてを決めよう	2	2学期の係やめあてを決めよう	2	2学期の係やめあてを決めよう	2
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5
10 月	インターネットやスマートフォンの使い方について考えよう	2	インターネットやスマートフォンの使い方について考えよう	2	インターネットやスマートフォンの使い方について考えよう	2
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5
11 月	学習発表会を成功させよう	10	学習発表会を成功させよう	10	学習発表会を成功させよう	10
	食の学習②	1	食の学習②	1	食の学習②	1
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5

12 月	平和学習「命の大切さを 知ろう」	1	平和学習「命の大切さを 知ろう」	1	平和学習「命の大切さを 知ろう」	1
	2 学期の反省と冬休み について	1	2 学期の反省と冬休み について	1	2 学期の反省と冬休み について	1
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5
1 月	冬休みの思い出と 3 学 期の行事について	1	冬休みの思い出と 3 学 期の行事について	1	冬休みの思い出と 3 学 期の行事について	1
	3 学期の係やめあてを 決めよう	2	3 学期の係やめあてを 決めよう	2	3 学期の係やめあてを 決めよう	2
	選挙について学ぼう 児童生徒会選挙	4	選挙について学ぼう 児童生徒会選挙	4	選挙について学ぼう 児童生徒会選挙	4
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5
2 月	平和学習「命の大切さ を知ろう」	1	平和学習「命の大切さ を知ろう」	1	平和学習「命の大切さを 知ろう」	1
					3 学期の反省	1
					卒業式に向けて	1
					進学に向けて	1
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5
3 月	1 年間の思い出を振り 返ろう	1	1 年間の思い出を振り返 ろう	1	中学部生活を振り返ろ う	1
	3 学期の反省と春休み について	2	3 学期の反省と春休み について	2		
	新学年に向けて準備を しよう	1	新学年に向けて準備を しよう	1		
	学部集会	0.5	学部集会	0.5	学部集会	0.5
	学級での話し合い	10	学級での話し合い	10	学級での話し合い	10
年間を 通して	時間合計	87.5	時間合計	87.5	時間合計	87.5

(2) 児童生徒会活動指導計画

①目標

- ・いろいろな活動を推進していく中で、集団の一員としての役割を自覚する意識を高め、社会参加・自立しようとする態度を育てる。
- ・児童生徒会で、お互いに協力して積極的に取り組む態度を育てる。

②児童生徒会役員

- ・会長、副会長、書記を置く。会長は高等部より1名、副会長は小1名、中1名、高1名 計3名、書記は小1名、中1名、高1名 計3名とする。
- ・任期は前期（2月～7月）、後期（9月～1月）とし、中学部、高等部は選挙によって役員を選出する。

③内容

- ・全校集会、各種行事等における学校代表としての挨拶等
- ・学部集会の司会、進行

④年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
活動内容	全校集会 (0.5) 学部集会 (0.5)	全校集会 (0.5) 学部集会 (0.5)	全校集会 (0.5) 学部集会 (0.5)	全校集会 (0.5) 学部集会 (0.5) 児童生徒会 選挙 (2)		全校集会 (0.5) 学部集会 (0.5)
配当時間	1	1	1	3	0	1

10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計
全校集会 (0.5) 学部集会 (0.5)	全校集会 (0.5) 学部集会 (0.5) 学習発表会 (学校行事)	全校集会 (0.5) 学部集会 (0.5)	全校集会 (0.5) 学部集会 (0.5) 児童生徒会 選挙 (2)	全校集会 (0.5) 学部集会 (0.5)	学部集会 (0.5)	
1	1	1	3	1	0.5	14.5

(3) 学校行事の指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計		
														1年	2年	3年
儀式的行事		始業式 【2～3年】 (1) 入学式(1)	—	—	終業式 (1)	—	始業式 (1)	—	—	終業式 (1)	始業式 (1)	—	卒業式 (2) 修了式 【1～2年】 (1)	8	9	8
文化的行事		—	—	—	—	—	—	—	学習発表会 (4)	—	—	—	—	4	4	4
健康安全・ 体育的行事		身体計測 (0.5)	心臓検診 【1年】 (1) 校医健診 (0.5) 視力・ 聴力測定 (0.5) 避難訓練 (1)	校医健診 (1)	—	—	身体計測 (0.5)	避難訓練 (1)	—	—	身体計測 (0.5) 避難訓練 (1)	—	—	7.5	6.5	6.5
遠足・集団 宿泊の行事		—	歓迎遠足 (6)	—	—	—	—	宿泊学習 【1～2年】 (12)	—	—	—	—	—	18	18	6
勤労生産・ 奉仕の行事		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ボランテ ィア活動 (2)	—	2	2	2
時間 合計	1 年	1.5	9	1	1	—	1.5	13	4	1	2.5	2	3	39.5		
	2 年	2.5	8	1	1	—	1.5	13	4	1	2.5	2	3		39.5	
	3 年	2.5	8	1	1	—	1.5	1	4	1	2.5	2	2			26.5

4 自立活動指導計画

(1) 目 標

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

(2) 指導方針

上記目標を達成するため、生徒それぞれの実態に応じて内容を選定し、個別の指導計画を作成して自立活動の時間における指導及び教育活動全般を通じて指導する。個別の指導計画の立案に当たっては、各教科、道徳科、総合的な学習の時間及び特別活動の指導や内容との関連を保つようにし、全教師が共通の認識で指導する。自立活動の時間における指導では、それぞれの重点課題について計画的・組織的に指導する。

(3) 指導計画

＜学習の形態＞指導目標や指導内容等から、学習を「個別」また「小グループ」など、主体的に取り組めるよう、適切に設定する。

＜指導内容・授業時数＞以下に示す区分の中から生徒の実態に応じて、必要とする項目を選定し、それらを相互に関連づけて具体的に指導内容を設定する。

- ・自立活動の時間における指導の時間数については指導の形態別授業時数に定められた時間数を原則とする。給食については、実態や必要性に応じて「食べ方（咀嚼・嚥下等）」の指導を自立活動の時間における指導に含める。
- ・教育活動全般において指導する内容については、「スケジュールボードを利用した生活の見通し」「コミュニケーションの取り方」「余暇活動の仕方」「場面や状況に慣れて活動する」など、個別の指導計画を作成する。

区 分	指 導 の 項 目
1 健康の保持	(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること。 (3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること。 (4) 障がいの特性の理解と生活環境の調整に関すること。 (5) 健康状態の維持・改善に関すること。
2 心理的な安定	(1) 情緒の安定に関すること。 (2) 状況の理解と変化への対応に関すること。 (3) 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。
3 人間関係の形成	(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。 (4) 集団への参加の基礎に関すること。
4 環境の把握	(1) 保有する感覚の活用に関すること。 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。
5 身体の動き	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。 (3) 日常生活に必要な基本的動作に関すること。 (4) 身体の移動能力に関すること。 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。
6 コミュニケーション	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 (2) 言語の受容と表出に関すること。 (3) 言語の形成と活用に関すること。 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

(4) 指導上の配慮事項

- ・自立活動の時間における指導については個別の課題の指導を深めていくと共に、全教師が共通の認識で自立活動の指導に当たることができるよう連絡を密にする。
- ・生徒の障がいの状態により、必要に応じて専門の医師及び関係者の助言を求め、適切な指導ができるようにする。
- ・生徒の状態を細かく観察し、指導計画の変更も含め柔軟に対応する。

5 総合的な学習の時間指導計画

(1) 総合的な学習の時間の名称 「総合的な学習の時間」

(2) 総合的な学習の時間の目標

- ・大神中学校との交流やボランティア活動を通し、地域の人たちとの関わりを深め、積極的に社会に参加しようとする態度を養う。
- ・委員会活動（校内奉仕活動）を通し、自ら周囲の人のためになることを見いだす主体性や、他者と協力して課題を解決しようとする態度を養う。

(3) 実施学年

学習活動	学部	学年	生徒数	方 法	授業時数	指導者
委員会活動 ボランティア活動 大神中との交流	中学部	1 年 2 年 3 年	9 名 9 名 7 名	○学部合同で実施 ・本校、交流校 ・学校周辺 ・学校内、校舎周辺	3 5 . 0	1 2 名

(4) 学習計画

月	学習事項	学 習 内 容	時間数
年間を通して	委員会活動	・校内や校舎周辺で「自分たちにできること」を考える。 ・縦割り班のグループで委員長を中心に校内の環境整備を行う。 ・縦割り班のグループで委員長を中心に校舎周辺の環境整備を行う。	1 8
年間を通して	ボランティア活動	・生徒会を中心に活動計画を立てる。 ・友だちと協力しながら活動する。 ・振り返りをして、ボランティア活動の意義や自己有用感について考える。	1 0
6 月	大神中との交流	・交流の日程や内容を知り、交流に必要な物を準備する。 ・大神中学校と学校間交流を行う。 ・お礼の手紙を書く。	3 (事前・事後含む)
1 2 月	大神中との交流	・交流の日程や内容を知り、交流に必要な物を準備する。 ・大神中学校と学校間交流を行い、お互いに知り合い交流を深める。 ・お礼の手紙を書く。	3 (事前・事後含む)
3 月	1 年間のまとめ	・交流の写真や手紙、ボランティア活動の写真等を見て総合的な学習の時間に取り組んだ内容を思い出しながら整理をする。	1
時間合計			3 5

6 交流及び共同学習指導計画

(1) 学校間交流

- ① 目的 ゲーム集会等を通じて、中学校の生徒との交流及び共同学習を計画的、組織的に
行い、人との関わりや経験を広め、社会性や豊かな人間性を育む。

②年間指導計画

学年	人数	実施する 月(予定)	1回あた りの実 施時間	指導の形態	具体的な内容	交流相手校名 学年等	引率 教員数
1年 ～ 3年	単重 一複 障障 がい 学級 20級 名5名	6月	2時間	総合的な学習 の時間	・大神中学校と本校生徒がグループに分かれ自己紹介等を通じてお互いを知り合う。 ・風船バレー等のゲームを通して親睦を深める。	大神中学校 1年～3年	なし 本校で 実施
1年 ～ 3年	単重 一複 障障 がい 学級 20級 名5名	12月	2時間	総合的な学習の 時間	・大神中学校と本校生徒がグループに分かれ自己紹介等を通じてお互いを知り合う。 ・ボッチャ等のゲームを通して親睦を深める。	大神中学校 1年～3年	12名

※状況に応じて間接交流を行う。

(2) 居住地校交流

- ①目的 本校に在籍する生徒が地域社会の一員として、ともに生き、ともに学び、将来の地域生活の基礎を作るとともに豊かな人間関係を築く力を育む。

②年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間	指導の形態	具体的な内容	交流相手校名 学年等	引率 教員数
1年	未定	1 2月	2時間	各教科等	・交流学級に入って、自己紹介をして、授業や行事などの活動に参加する。 ・交流学級に入って、グループに分かれて簡単なゲームをする。	未定	未定
		2月	2時間				
2年	4名 (予定)	1 2月	2時間	各教科等	・交流学級に入って、自己紹介をして、授業や行事などの活動に参加する。 ・交流学級に入って、グループに分かれて簡単なゲームをする。	日出中学校 国東中学校 山香中学校	各1名
		2月	2時間				
3年	4名 (予定)	1 2月	2時間	各教科等	・交流学級に入って、自己紹介をして、授業や行事などの活動に参加する。 ・交流学級に入って、グループに分かれて簡単なゲームをする。	日出中学校 国東中学校	各1名
		2月	2時間				

※状況に応じて間接交流を行う。

7 産業現場等における実習指導計画

(1) 目的

- 事業所・施設等の生活に触れることにより、将来の進路や社会生活に対する意識を育てる機会とする。
- 事業所・施設等における作業体験や生活体験を通じ、個々の生徒の現状における課題を確認する機会とする。

(2) 期間

- 1年間を通して2～3日間程度、生徒の状況や課題に応じて実施する。

(3) 指導計画

学年	2・3年生
指導の形態名	職業・家庭、自立活動
履修時間(日数)	2年生(2日間) 3年生(3日間)
内容	ハウス園芸、バリ取り、ネギの調整、ごぼうの袋づめ、花卉栽培、室内軽作業、リサイクル、農業、自動車部品組立、メンテナンスなど
実習期日	12月9日～12月11日のうち、2日間もしくは3日間
実習時間数	2年生(10時間) 3年生(15時間)
実習場所又は事業所	(日出町) 社会福祉法人 みのり村 障害福祉サービス事業所 みのりスマイル (日出町) 大分県社会福祉事業団 大分県溪泉寮 福祉農園ハイテク (杵築市) 社会福祉法人 みのり村 ワークセンター誠 (杵築市) 特定非営利活動法人 支援ハウス 豊さん家 就労継続支援B型事業所 あすなろ (別府市) 社会福祉法人 太陽の家 など、県内の適切な施設を選択する。
実習生徒数	16名
引率教員数	7名
備考	・事前に実習先の仕事内容や日程等を指導する。 ・生徒の実態やニーズに応じて校内実習やデイサービスセンターの利用・体験も実施する。 ・生徒の体調や状況によっては、時期をずらして行う場合もある。

Ⅳ 高等部教育課程

1 指導の形態別授業時数

(1) 職業生活科、生活教養科

指導の形態		1 年			2 年			3 年			備 考
		I	II	III	I	II	III	I	II	III	
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	77.5	77.5	186	77.5	77.5	186	77.5	77.5	186	※日常生活の指導について ・清掃（25分）…Ⅰ、Ⅱ課程 ・朝の活動、清掃（60分）…Ⅲ課程
	生活単元学習	31	93	244	31	93	244	31	93	244	
	作業学習	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
国 語		78	62	0	78	62	0	78	62	0	※各授業時数は、校内・現場実習期間を除き、31週で算出
社 会		16	0	0	16	0	0	16	0	0	
数 学		62	62	0	62	62	0	62	62	0	
理 科		15	0	0	15	0	0	15	0	0	※職業については産業現場等における実習（120時間）を含む…Ⅰ、Ⅱ課程
音 楽		31	31	31	31	31	31	31	31	31	
美 術		62	62	62	62	62	62	62	62	62	
保健体育		96.1	96.1	62	96.1	96.1	62	96.1	96.1	62	※生活単元学習については産業現場等における実習（120時間）を含む…Ⅲ課程
職 業		411.4	306	0	411.4	306	0	411.4	306	0	
家 庭		62	62	0	62	62	0	62	62	0	
外 国 語		15	—	—	15	—	—	15	—	—	
特別の教科 道徳		8	8	8	8	8	8	8	8	8	
特別活動/ ホームルーム活動		35	35	35	35	35	35	35	35	35	
自立活動		31	136.4	403	31	136.4	403	31	136.4	403	
総合的な探究の時間		19	19	19	19	19	19	19	19	19	
総 授 業 時 数		1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	1050	

(2) 訪問教育学級

指導の形態		1 年	2 年	3 年	備考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	—	—	—	※週2回、1回につき2単位時間を実施。
	生活単元学習	70	70	70	
	作業学習	—	—	—	
国 語		0	0	0	
社 会		0	0	0	
数 学		—	—	—	
理 科		0	0	0	
音 楽		0	0	0	
美 術		0	0	0	
保健体育		—	—	—	
職 業		—	—	—	
家 庭		—	—	—	
特別の教科 道徳		0	0	0	
特別活動/ ホームルーム活動		0	0	0	
自立活動		70	70	70	
総合的な探究の時間		—	—	—	
総 授 業 時 数		140	140	140	

2 道徳科指導計画

高等部 1 ～ 3 年			
	題材名	内容項目	配当時間
4 月	みんなと協力してよりよいクラス・学校をつくろう	C よりよい学校生活、 集団生活の充実	2
5 月	友だちと協力して目標に向かって挑戦しよう	B 友情、信頼	1
6 月	平和、命の尊さについて考えよう	C 国際理解、国際貢献 D 生命の尊さ	1
7 月			
9 月	相手の気持ちを尊重したコミュニケーション方法について考えよう	B 相互理解、寛容	1
10 月	働くことについて考えよう ～働くことの意義・将来の生き方～	C 勤労 A 向上心、個性の伸長	2
11 月			
12 月			
1 月	感謝の気持ちを伝えよう	B 思いやり、感謝	1
2 月			
3 月			
	時間合計		8

※内容項目の欄については、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）第 3 章「特別の教科 道徳 第 2 内容」に記載された「内容を端的に表す言葉（キーワード）」より記入。「道徳教育の全体計画」における重点項目を主に取り扱う。

※道徳科（特別の教科道徳）については、時間における指導を中心として指導するとともに、学校の教育活動全体を通じて指導を行う。

3 特別活動の指導計画

(1) ホームルーム活動指導計画

① ホームルーム活動の目標

ホームルームや学校での生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、ホームルームでの話し合いを活かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、現在及び将来の自己と集団との関わりを理解し、健全な生活や社会づくりの実践力を高める。

② 学年別指導目標

1 年	2 年	3 年
高等部生活への適応 集団活動への参加 規則正しい生活習慣	高等部生活の確立 個性の伸長をはかる 協調性・社会性を養う 規則正しい生活習慣	最高学年としての自覚 目標の設定と進路の決定 社会人としての準備

③ ホームルーム活動の年間指導計画及び配当時間

	題材名	時間	活動 内容 記号	題材名	時間	活動 内容 記号	題材名	時間	活動 内容 記号
4 月	友達や先生のことを知ろう	1	(1)ア (2)ア	後輩を迎える準備をしよう	1	(1)ア (2)ア	最高学年としての心構えを整えよう	1	(1)ア (2)ア
	1学期の目標、係決め	1	(1)ア (1)イ	1学期の目標、係決め	1	(1)ア (1)イ	1学期の目標、係決め	1	(1)ア (1)イ
	対面式、歓迎遠足に向けて	1	(1)ウ	対面式、歓迎遠足に向けて	1	(1)ウ	対面式、歓迎遠足に向けて	1	(1)ウ
5 月	いろいろな災害について知ろう	1	(2)オ	いろいろな災害について知ろう	1	(2)オ	いろいろな災害について知ろう	1	(2)オ
	体育発表会に向けて	3	(1)ウ	体育発表会に向けて	3	(1)ウ	体育発表会に向けて	3	(1)ウ
6 月	ICT 機器を利用する時のルールを考えよう	1	(2)オ (3)ウ	インターネットを利用する時のルールを考えよう	1	(2)オ (3)ウ	携帯電話を利用する時のルールを考えよう	1	(2)オ (3)ウ
	宿泊学習に向けて	3	(1)ウ	いろいろな国の文化や生活習慣を知ろう	3	(2)ウ	いろいろな国の文化や生活習慣を知ろう	3	(2)ウ
7 月	児童生徒会選挙に参加しよう	2	(1)ウ	児童生徒会選挙に参加しよう	2	(1)ウ	児童生徒会選挙に参加しよう	2	(1)ウ
	1学期の振り返り	1	(1)ア	1学期の振り返り	1	(1)ア	学期の振り返り	1	(1)ア
9 月	2学期の目標、係決め	1	(1)ア (1)イ	2学期の目標、係決め	1	(1)ア (3)イ	2学期の目標、係決め	1	(1)ア (3)イ
	生活習慣を見直そう	2	(2)オ	修学旅行に向けて	2	(1)ウ	いろいろなトラブルから身を守ろう	2	(2)オ
10 月	災害から身を守ろう	1	(2)オ	災害から身を守ろう	1	(2)オ	災害から身を守ろう	1	(2)オ
	卒業後の生活を考えよう①	2	(3)ア (3)エ	卒業後の生活を考えよう①	2	(3)ア (3)エ	卒業後の生活を考えよう①	2	(3)ア (3)エ
	友達と語り合おう	1	(2)エ	不安や悩みを語り合おう	1	(2)エ	いろいろな性を認め合おう	1	(2)イ
11 月	学習発表会に向けて	4	(1)ウ	学習発表会に向けて	4	(1)ウ	学習発表会に向けて	4	(1)ウ
12 月	卒業後の生活を考えよう②	2	(3)ア (3)エ	卒業後の生活を考えよう②	2	(3)ア (3)エ	社会人になる準備をしよう	2	(3)ア (3)エ
	2学期の振り返り	1	(1)ア	2学期の振り返り	1	(1)ア	2学期の振り返り	1	(1)ア
1 月	3学期の目標、係決め	1	(1)ア (1)イ	3学期の目標、係決め	1	(1)ア (1)イ	3学期の目標、係決め	1	(1)ア (1)イ
	災害に備えよう	1	(2)オ	災害に備えよう	1	(2)オ	災害に備えよう	1	(2)オ
2 月	選挙の話を聞こう	2	(3)ウ	選挙の話を聞こう	2	(3)ウ	選挙の話を聞こう	2	(3)ウ
	予餞会に向けて	1	(1)ウ	予餞会に向けて	1	(1)ウ	卒業式に向けて	2	(1)ウ
3 月	卒業式に向けて	1	(1)ウ	卒業式に向けて	1	(1)ウ	3学期の振り返り、1年間のまとめ	1	(1)ア
	3学期の振り返り、1年間のまとめ	1	(1)ア	3学期の振り返り、1年間のまとめ	1	(1)ア			
	時間合計	35		時間合計	35		時間合計	35	

※表中の「活動内容記号」は、高等学校指導要領（平成 30 年度告示）に示されているホームルーム活動の内容の記号を示している。

(2) 児童生徒会活動指導計画

①目標

- ・クラス・学年・学部を超えたグループで、様々な活動を通して望ましい人間関係を形成し、よりよい学生生活を築こうとする実践的な態度を養う。
- ・児童生徒会の一員として、きまりを理解し、お互いに協力してよりよい学校にしようとする自主的な態度を身につける。
- ・児童生徒会の一員として、自分の役割を理解し、主体的に行動する態度を身につける。
- ・児童生徒会役員選挙を通して、選挙の意義や具体的な仕組みを理解する。

②児童生徒会役員

- ・会長、副会長、書記を置く。会長は高等部より1名、副会長は小1名・中1名・高1名 計3名、書記は、小1名、中1名、高1名 計3名とする。
- ・任期は前期（2月～7月）、後期（9月～1月）とし、中学部、高等部は選挙によって役員を選出する。

③委員会活動（高等部のみ）

- ・下記の委員会は、4月に発足し、それぞれの活動の企画・運営の協議や個々の活動の時間を月に1時間特設する。なお、各委員会には委員長を置く。
- ・学部集会、全校集会で提案する活動も行う。

委員会名	活動内容
図書委員会	図書室の整理・清掃、図書週間における啓発活動等
保体委員会	保健全般の活動、体育用具の整理、行事や授業での準備体操等
美化委員会	校内美化活動（消毒液、ハンドソープの補充、環境整備）等

④全校集会活動

- ・原則、毎月1回行い、委員会からのお知らせや行事の発表等を行う。

⑤年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
活動内容	全校集会 (0.5) 委員会活動 (委員) 対面式(1)	全校集会 (0.5) 委員会活動 (委員)	全校集会 (0.5) 委員会活動 (委員)	全校集会 (0.5) 委員会活動 (委員) 児童生徒会選挙(2)		全校集会 (0.5) 委員会活動 (委員)
配当時間	1.5	0.5	0.5	2.5	0	0.5

10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計
全校集会 (0.5) 委員会活動 (委員)	全校集会 (0.5) 委員会活動 (委員) 学習発表会 (学校行事)	全校集会 (0.5)	全校集会 (0.5) 委員会活動 (委員) 児童生徒会選挙(2)	全校集会 (0.5) 委員会活動 (委員)		
0.5	0.5	0.5	2.5	0.5	0	10

(3) 学校行事の指導計画

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計		
														1年	2年	3年
儀式的行事		始業式 【2～3年】 (1) 入学式(1)	—	—	終業式 (1)	—	始業式 (1)	—	—	終業式 (1)	始業式 (1)	—	卒業式 (2) 終業式 【1～2年】 (1)	8	9	8
文化的行事		—	—	—	—	—	—	—	学習発表会 (4)	—	—	—	—	4	4	4
健康安全・ 体育の行事		身体計測 (0.5) 結核検診 【1年】 (1)	心臓検診 【1年】 (1) 校医健診 (0.5) 視力・ 聴力測定 (0.5) 避難訓練 (1)	校医健診 (1)	—	—	身体計測 (0.5)	避難訓練 (1)	—	—	身体計測 (0.5) 避難訓練 (1)	—	—	8.5	6.5	6.5
遠足・集団 宿泊の行事		—	歓迎遠足 (1)	宿泊学習 【1年】 (6)	—	—	修学旅行 【2年】 (18)	—	—	—	—	—	—	7	19	1
勤労生産・ 奉仕の行事		—	—	—	—	—	—	地域清掃 活動 (2)	—	—	—	—	—	2	2	2
時間 合計	1年	2.5	4	7	1	—	1.5	3	4	1	2.5	—	3	29.5		
	2年	2.5	3	1	1	—	19.5	3	4	1	2.5	—	3		40.5	
	3年	2.5	3	1	1	—	1.5	3	4	1	2.5	—	2			21.5

4 自立活動指導計画

(1) 目標

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

(2) 指導方針

上記目標を達成するため、生徒それぞれの実態に応じて内容を選定し、個別の指導計画を作成して自立活動の時間における指導及び教育活動全般を通じて指導する。その際、一人一人の実態に合わせ、家庭と連携をとりながら、個別の指導計画を立て、適切に行うものとする。また、各教科、道徳科、特別活動及び総合的な探究の時間の指導と密接な関連を保ち、計画的、組織的に指導できるよう指導計画を作成するとともに、生徒の学習の状況や結果を適切に評価し、個別の指導計画や具体的な指導に活かすようにする。

○指導内容の選定

- ・個々の生徒の実態を的確に把握し、長期的及び短期的な観点から指導の目標を設定し、それらを達成させるために必要な指導内容を段階的に取り上げる。
- ・生徒が興味をもって主体的に取り組み、成就感を味わうことができるような指導内容を取り上げる。
- ・生徒が、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする意欲を高めることができるような指導内容を取り上げる。
- ・個々の生徒の得意な側面を更に伸ばすことによって、苦手な側面を補うことができるような指導内容を取り上げる。

(3) 指導計画

○学習の形態

指導目標や指導内容等から、学習を「個別」また「グループ」など、主体的に取り組めるよう、適切に設定する。

○指導内容・授業時数

以下に示す区分の中から個々の生徒に応じて必要とする項目を選択し、それらを相互に関連づけながら、具体的に指導内容を設定する。

- ・自立活動の時間における指導の時間数については、指導の形態別授業時数に定められた時間数を原則とする。生徒の実態に応じて「ソーシャルスキルトレーニング」「ルールやマナーの理解」などの内容も取り扱う。
- ・教育活動全般において指導する内容については、「スケジュールボードを利用した生活の見通し」「コミュニケーションの取り方」「給食時の姿勢、食べ方(咀嚼、嚥下)等の指導」「余暇活動の仕方」「場面や状況に慣れて活動する」など、個別の指導計画を作成する。

○指導区分及び項目

1 健康の保持 (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること (2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること (3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること (4) 障がいの特性の理解と生活環境の調整に関すること (5) 健康状態の維持・改善に関すること	4 環境の把握 (1) 保有する感覚の活用に関すること (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること
2 心理的な安定 (1) 情緒の安定に関すること (2) 状況の理解と変化への対応に関すること (3) 障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること	5 身体の動き (1) 姿勢と運動・動作の基本技能に関すること (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること (3) 日常生活に必要な基本動作に関すること (4) 身体の移動能力に関すること (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること
3 人間関係の形成 (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること (2) 他者の意図や感情の理解に関すること (3) 自己の理解と行動の調整に関すること (4) 集団への参加の基礎に関すること	6 コミュニケーション (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること (2) 言語の受容と表出に関すること (3) 言語の形成と活用に関すること (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること

(4) 指導上の配慮事項

- 自立活動を主として指導を行うものについては、系統的な指導が展開できるよう、全人的な発達を促すために必要な基本的な指導内容を、生徒の実態に応じて設定する。
- 全教師の協力のもと、効果的に行う。
- 生徒の障がいの状態により、必要に応じて、専門の医師及びその他の専門家の指導・助言を求めるなどして、適切な指導ができるようにする。

5 総合的な探究の時間指導計画

(1) 総合的な探究の時間の名称

「総合的な探究の時間」

(2) 実施学年

学 年	生徒数	学習方法	授業時数	指導者数
1 年	9 名	学年を解体して実施する。 (日出総合高校との交流については1年のみ)	19	4 名
2 年	12 名		19	5 名
3 年	10 名		19	4 名

(3) 学習計画

① 目 標

日頃の学習成果を活かして、地域の人たちや外国の人とつながる体験活動を行うことで、自分たちができることを探究し、家庭や学校・社会で豊かに生活していく力を養う。

② 年間指導計画

月	学習事項	学習内容	配当時間		
			1 年	2 年	3 年
4 5	ボランティア活動	(ペットボトルキャップの回収) ○ボランティア活動の意義や自己有用感について考える。 ○地域の公共施設や保護者等にペットボトルキャップ回収の協力を依頼する。 ○ペットボトルキャップの洗浄や分別を行う。	3	3	3
6 7	日出総合高校との交流	○日出総合高校との交流を通して、お互いの理解を深めたり、活動を楽しんだりする。 (事前・事後指導も含む)	4	—	—
	国際交流	○外国と自分の地域とのつながりを体験し、実感する。 ○異なる文化に触れ、違いを認め尊重する姿勢を養う。 ○ゲームなどの活動を通して交流を楽しむ。	—	4	4
9 10	地域清掃活動	○学校周辺道路のゴミの収集等をして、地域の人のために役立つ体験を行う。	4	4	4
11 12	日出総合高校との交流	○日出総合高校との交流を通して、協力し合ったり、活動を楽しんだりしながら、お互いを認め合う気持ちを育てる。 (事前・事後指導も含む)	4	—	—
	国際交流	○外国と自分の地域とのつながりを体験し、実感する。 ○異なる文化に触れ、違いを認め尊重する姿勢を養う。 ○ゲームなどの活動を通して交流を楽しむ。	—	4	4
1 2 3	ボランティア活動	(ペットボトルキャップの回収) ○ペットボトルキャップ回収に協力してもらった地域の公共施設や保護者等にお礼を伝える。 ○ペットボトルキャップの洗浄や分別を行う。 ○自分たちにできるボランティア活動を考える。	4	4	4
時間合計			19	19	19

6 交流及び共同学習指導計画

学校間交流

- ①目的
- ・地域の他校の生徒と活動を共にする機会を増やすことにより、社会性や豊かな人間性を育む。
 - ・ゲーム交流や授業体験等を共同学習として位置づけ計画的に実施し、互いに理解し、協力しながら主体的に関わろうとする態度を育てる。

②年間指導計画

学年	人 数	実施する月（予定）	1回あたりの実施時間	各教科等指導の形態名	具体的な内容	交流相手校	引率 教員数
1 年	職業生活科 13名 生活教養科 2名	7 月	3 時間	総合的な探究の時間	・パワーポイントや動画等で本校の学校紹介。 ・ボッチャや風船バレーなどお互いに協力してできるよう計画、運営する。	日出総合高校 3 年	なし 本校で実施
1 年	職業生活科 13名 生活教養科 2名	1 2 月	3 時間	総合的な探究の時間	・相手校を訪問し、学校探検やじゃんけん列車、ジェスチャーゲーム等を行う。	日出総合高校 3 年	7 名

※状況に応じて間接交流を行う。

7 産業現場等における実習指導計画

目 的 学校卒業後の社会自立を可能にするために、学校で身につけた能力や資質を実際の職場（事業所・施設）で一定期間実習し、各人の職業適性、課題の発見とその解決などに努めることにより、卒業後の進路先への移行をできるだけ円滑にさせる。なお、高等部3年生については、卒業後の進路を決定するための追加実習を実施することもある。

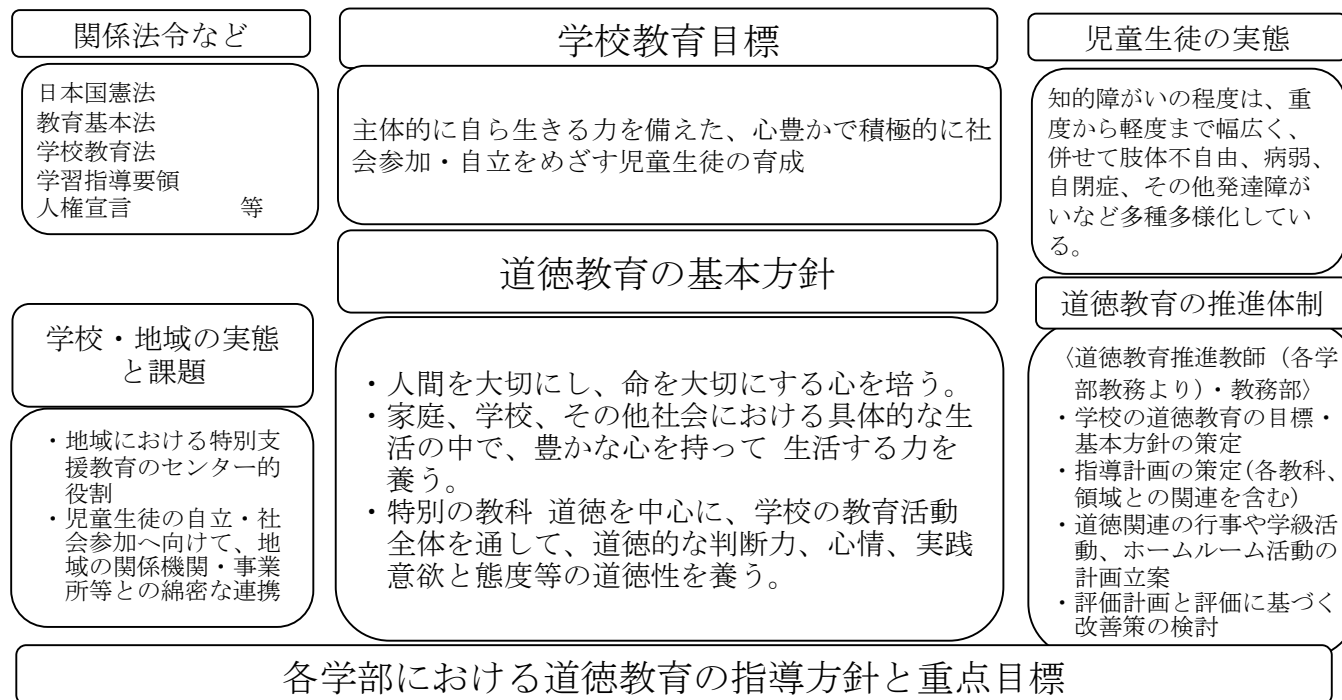
学 年	コ ー ス	指導形態	履 修 日 数 (日)	内 容	実習 期 日	実習 時間 数	実 習 場 所 又 事 業 所	生徒数	教員数
1 年	生活教養科	職業 生活単元学習	5	軽作業 園芸作業 創作的活動 レクリエーション活動	1 学期 1 週間	3 0	校 内	2	2
			5	園芸作業 バリ取り 室内軽作業 レクリエーション活動	2 学期 1 週間	3 0	・みのりスマイル（B型） ・三角ベース（B型、生活介護） ・樹の実園（B型、生活介護） ・ふれあいスポット虹（生活介護） ・らいぶおん（B型、生活介護）		
			1 0	公園清掃 リサイクル	3 学期 2 週間	6 0			
1 年	職業生活科	職業	5	軽作業 園芸作業 受注作業 メンテナンス	1 学期 1 週間	3 0	校 内	13	5
			5	自動車部品組立・検品 バリ取り 農業	2 学期 1 週間	3 0	・ナザレトの家（A型、B型） ・秀溪園（B型） ・みのりスマイル（B型） ・三角ベース（B型） ・ワークセンター誠（B型） ・すだちの家日出（B型）		
			1 0	園芸作業 室内軽作業 パン製造、カフェ	3 学期 2 週間	6 0			
2 年	生活教養科	職業 生活単元学習	1 0	園芸作業 バリ取り 室内軽作業 レクリエーション活動	1 学期 2 週間	6 0	・みのりスマイル（B型） ・三角ベース（B型、生活介護） ・樹の実園（B型、生活介護） ・ふれあいスポット虹（生活介護） ・らいぶおん（B型、生活介護）	2	2
			1 0	公園清掃 リサイクル作業	3 学期 2 週間	6 0			
2 年	職業生活科	職業	1 0	自動車部品組立・検品 花卉栽培 農業	1 学期 2 週間	6 0	・太陽の家（A型、B型、移行） ・福祉農園ハイテク（B型、移行） ・あしたば（A型、B型） ・住吉浜リゾートパーク（A型、B型、移行） ・ホンダ太陽株式会社（一般） ・黒木記念病院（一般） ・杵築市立山香病院（一般）	1 0	3
			1 0	レストラン業務 メンテナンス 自動車部品製造 介護補助業務 病院内環境整備	3 学期 2 週間	6 0			
3 年	生活教養科	職業 生活単元学習	1 0	園芸作業 バリ取り 室内軽作業 レクリエーション活動	1 学期 2 週間	6 0	・みのりスマイル（B型） ・三角ベース（B型、生活介護） ・樹の実園（B型、生活介護） ・ふれあいスポット虹（生活介護） ・らいぶおん（B型、生活介護）	3	2
			1 0	公園清掃 リサイクル作業	2 学期 2 週間	6 0			
3 年	職業生活科	職業	1 0	自動車部品組立・検品 花卉栽培 農業	1 学期 2 週間	6 0	・太陽の家（A型、B型、移行） ・福祉農園ハイテク（B型、移行） ・あしたば（A型、B型） ・住吉浜リゾートパーク（A型、B型、移行） ・ホンダ太陽株式会社（一般） ・株式会社ジェイエエフーズ おおいた（一般） ・杵築中央病院（一般）	7	2
			1 0	レストラン業務 環境整備 自動車部品製造 食品の選別・箱詰め メンテナンス	2 学期 2 週間	6 0			

令和 8 年度

V 道徳教育の全体計画

大分県立日出支援学校

V 道徳教育の全体計画



小学部	特別の教科 道徳を中心に、学校の教育活動全体を通して、体験的な要素を取り入れ、教師や児童との関わりを深め、明るく楽しい学校生活を送る態度を育てる。 【節度、節制】 【友情、信頼】 【礼儀】
中学部	特別の教科 道徳を中心に、学校の教育活動全体を通して、まわりの生徒や教師との関わりを深めるとともに、明るい生活態度や職業生活に向けての豊かな心の育成を図る。 【節度、節制】 【友情、信頼】 【礼儀】 【勤労】
高等部	〈職業生活科〉 特別の教科 道徳を中心に、学校の教育活動全体を通して、健全な社会生活・職業生活を営む上で必要な道徳性を高める。 【よりよい学校生活、集団生活の充実】 【勤労】
	〈生活教養科〉 特別の教科 道徳を中心に、学校の教育活動全体を通して、より明るい生活態度や豊かな心の育成を図る。 【よりよい学校生活、集団生活の充実】

特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導との関連	
小学部	校外学習や交流及び共同学習などの実体験を通して、教師や児童または児童同士の関わる力を育てる。
中学部	交流及び共同学習や体験実習を通して、地域の生徒や人々、産業現場等の人々とふれあい、社会性を育てる。
高等部	産業現場等における実習や施設体験を通して、働くことへの意識を高め、職場や社会の規範を学び、実践する態度を育む。

生活全般における指導 ・挨拶や感謝する心の育成 ・基本的な生活習慣の確立 ・環境の美化に努める心の育成 ・物を大切にする心の育成 ・主体性・協調性の育成 ・安全についての意識の育成	学校の環境の充実 ・児童生徒の障がいに対応した環境整備の充実 ・自然環境を生かした教育課程の充実	家庭、地域社会、他校種との連携 ・生活リズムの確立 ・開かれた学校作り ・保護者や関連機関との協力体制作り ・近隣又は居住地の小中学校及び高等学校との交流及び共同学習の推進
---	---	---

令和 8 年度

VI キャリア教育の 全体計画

大分県立日出支援学校

VI キャリア教育の全体計画

キャリア教育の目的 ライフステージや発達段階に応じて求められる役割を果たそうとする意欲や具体的な力を身につけ、社会参加と自立、豊かな生活の実現を図る。	学校教育目標 主体的に自ら生きる力を備えた、心豊かで積極的に社会参加・自立をめざす児童生徒の育成	関係法規 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、障害者総合支援法、児童福祉法、生活保護法
	キャリア教育全体目標 (1) 将来の社会参加・自立を目指し、社会生活に必要な基本的生活習慣の定着やソーシャルスキルの習得を図る。 (2) 働く力や社会性を育む教育を推進し、地域で生活できる人材を育成する。 (3) 児童生徒一人一人について、その能力や適性を把握し、本人や保護者のニーズを理解して適切な進路指導・支援に努める。 (4) 地域、関係機関との連携を密にし、情報収集や職業自立に向けた実習先・就労先の確保に努める。	児童生徒・保護者の願い 自分のことは自分でできるようにしたい。 毎日元気に楽しく生活したい。 いろいろなことに挑戦し、やりたい仕事をみつきたい。 家から近いところで働きたい。 障がいに応じた社会参加と自立をめざしたい。
	学部方針 【小学部】 教育活動全体を通して、日常生活に必要な知識・技能・態度を養う。 【中学部】 教育活動全体を通して、社会生活に必要な知識・技能・態度を養うとともに社会参加を目指し、適切な指導を行う。 【高等部】 教育活動全体を通して、社会的・職業的自立をめざす。	

各学段段階における指導目標						
	日常生活の指導	生活単元学習	教科別の指導	特別活動	自立活動	総合的な学習の時間 総合的な探究の時間
【小学部】 身辺自立の確立と人間関係の基盤形成の時期			基本的生活習慣の確立をめざし、自分でできることは自分で取り組む力を育てる。 正しい挨拶の仕方や習慣を身につける。 手伝いや係活動等に進んで取り組む態度や意欲を育てる。 話す、聞く、書く、読むなどの力をつける。 初歩的な数の概念を高める。 基礎的な体力をつける。	学部集会や学校行事等を通して、自分のことは自分で行ったり、友だちと仲良く活動したり、協力して取り組んだりする力を育てる。	見通しを持って落ち着いて生活を送る。 自分の気持ちを伝える力を育てる。 決められた課題をやり終える力を育てる。 進んで課題に取り組む意欲を育てる。	
【中学部】 社会生活能力と自己表現力の育成の時期	身辺生活処理を指導し、基本的生活習慣の伸長を図る。 病気、けがの予防と治療、安全指導を通して、健康・安全に留意した生活を送ることができる。 友だちと協力して係活動を行い、スケジュールを見て、自分で行動できる。	自然、学校・家庭、地域社会の活動に積極的に参加し、体験的な活動を通して、社会生活への理解を深める。 集団参加を通して、きまり、言葉づかい、約束、挨拶、返事などの社会規範を守ることができる。	基礎学力を向上させ、社会生活に必要な基本的知識や生活習慣を身につけ、生活にいかすことができる。 健康に留意して体力作りをすすめる、丈夫な体をつくるができる。 職業・家庭の中で仕事への関心、意欲、見通し、態度、技能を養う。 働くことの意義や喜びを感じ、働くことに慣れるとともに、働く力を育てる。	学級や児童生徒会の中で決められた役割を果たしたり、余暇を楽しんだりできる。 相手の思いやり、行動できるなど、豊かな情操を持つことができる。 仕事についての適性を理解し、自己実現に向けた適切な進路選択を行う。	自己を理解し、意思表示できる力を育てる。 自立をめざし、身近な学習や生活上の課題を主体的に解決するための知識・技能・態度を養う。	地域の清掃活動や啓発活動に積極的に取り組む、地域の人達とのつながりを大切にし、家庭や学校・社会で、豊かに生活していく力を養う。
【高等部】 社会生活能力の選択・自己決定力育成の時期	生活の見通しを立て、その時々々の日常生活をより自主的、発展的に行うための生活意欲や態度を育てる。	学校生活や社会生活に関わる生活上の課題を解決するための知識や技能を高めるとともに、自ら積極的に取り組む態度を養う。	社会的知識、自然・労働についての理解力の育成と獲得、健康・安全、体力の増進を図る。 職業 勤労の意義を理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。 仕事への関心、意欲、見通し、態度、技能を養う。	いろいろな活動を推進していく中で、集団の一員としての役割を自覚する意識を高め、社会参加・自立をしようとする態度を育てる。	個々の生徒が自立をめざし、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度を養う。	人とのコミュニケーションの方法や地域の人達とのつながりを大切にし、家庭や学校・社会で、豊かに生活していく力を養う。

キャリア教育推進を支えるもの					
専門性の向上	保護者との連携	地域との連携	関係機関との連携	校内の組織作り	啓発活動
○教職員校外研修 ・事業所見学 ・事業所体験 ・卒業生支援 ○各種会議の報告(情報提供)	○高等部進路説明会 ○進路支援の手引き配布 ○高等部進路面談(個別)	○地域の企業との交流会	○ワーキングフェア ○施設長さんとの情報交換会 ○移行支援会議 ○福祉行政との連携 ・ケース会議 ・支援会議 ・地域自立支援協議会への出席(就労支援部会・生活支援部会)	○進路支援体制 ・進路支援 ・実習関係 ・進路研修 ・進路広報 ・施設等との連携、物販 ・卒業生支援 ・同窓会 ○校内支援会議	○事業所見学 ○企業開拓 ○事業所訪問 ○進路だより ○ホームページ(情報提供)

令和 8 年度

VII 基本日課表

大分県立日出支援学校

Ⅶ 基本日課表

小学部 基本日課

単 一 課 程

(単一：1年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	国語(9)				
2	体育	算数	体育	学級活動 ／道徳	算数
	自立活動	自立活動	自立活動		自立活動
3	生活	国語	生活	体育	図画工作
4	生活	体育	音楽	国語	音楽
給食・昼休み	生活(9) 1, 2年				
5		生活		算数	生活
6					
	生活(13.5)				
下校	13:30	14:15	13:30	14:15	14:15

(単一：2年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	国語(9)				
2	体育	算数	体育	学級活動 ／道徳	算数
	自立活動	自立活動	自立活動		自立活動
3	生活	国語	生活	体育	図画工作
4	生活	体育	音楽	国語	音楽
給食・昼休み	生活(9) 1, 2年				
5	算数	生活		算数	生活
6					
	生活(13.5)				
下校	14:15	14:15	13:30	14:15	14:15

(単一：3年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	国語(9)				
2	体育	算数	体育	学級活動 ／道徳	算数
	自立活動	自立活動	自立活動		自立活動
3	生活	国語	生活	体育	図画工作
4	生活	体育	音楽	国語	音楽
給食・昼休み	生活(13.5) 3～6年				
5	算数	生活	国語	算数	生活
6					
	生活(13.5)				
下校	14:15	14:15	14:15	14:15	14:15

(単一：4～6年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	国語(9)				
2	自立活動	自立活動	自立活動	学級活動 ／道徳	自立活動
	体育	算数	体育		算数
3	図画工作	体育	音楽	生活	生活
4	国語	国語	生活	体育	生活
給食・昼休み	生活(13.5) 3～6年				
5	生活	算数	国語	算数	音楽
6					自立活動
	生活(13.5)				
下校	14:15	14:15	14:15	14:15	15:15

重 複 課 程 A

(重複A：1年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	国語(9)				
2	体育	算数	体育	学級活動 ／道徳	算数
	自立活動	自立活動	自立活動		自立活動
3	生活	国語	生活	体育	図画工作
4	生活	体育	音楽	国語	音楽
給食・昼休み	自立活動(9) 1, 2年				
5		生活		算数	生活
6					
	生活(13.5)				
下校	13:30	14:15	13:30	14:15	14:15

(重複A：2年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	国語(9)				
2	体育	算数	体育	学級活動 ／道徳	算数
	自立活動	自立活動	自立活動		自立活動
3	生活	国語	生活	体育	図画工作
4	生活	体育	音楽	国語	音楽
給食・昼休み	自立活動(9) 1, 2年				
5	算数	生活		算数	生活
6					
	生活(13.5)				
下校	14:15	14:15	13:30	14:15	14:15

(重複A：3年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	国語(9)				
2	体育	算数	体育	学級活動 ／道徳	算数
	自立活動	自立活動	自立活動		自立活動
3	生活	国語	生活	体育	図画工作
4	生活	体育	音楽	国語	音楽
給食・昼休み	自立活動(13.5) 3～6年				
5	算数	生活	国語	算数	生活
6					
	生活(13.5)				
下校	14:15	14:15	14:15	14:15	14:15

(重複A：4～6年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	国語(9)				
2	自立活動	自立活動	自立活動	学級活動 ／道徳	自立活動
	体育	算数	体育		算数
3	図画工作	体育	音楽	生活	生活
4	国語	国語	生活	体育	生活
給食・昼休み	自立活動(13.5) 3～6年				
5	生活	算数	国語	算数	音楽
6					自立活動
	生活(13.5)				
下校	14:15	14:15	14:15	14:15	15:15

重 複 課 程 B

(重複B：1年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	自立活動(9)				
2	自立活動	自立活動	自立活動	学級活動 ／ 道徳	自立活動
3	生活	自立活動	生活	自立活動	図画工作
4	生活	自立活動	音楽	自立活動	音楽
給食・昼休み	自立活動(9) 1, 2年				
5		生活		自立活動	生活
6					
	生活(13.5)				
下校	13:30	14:15	13:30	14:15	14:15

(重複B：2年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	自立活動(9)				
2	自立活動	自立活動	自立活動	学級活動 ／ 道徳	自立活動
3	生活	自立活動	生活	自立活動	図画工作
4	生活	自立活動	音楽	自立活動	音楽
給食・昼休み	自立活動(9) 1, 2年				
5	自立活動	生活		自立活動	生活
6					
	生活(13.5)				
下校	14:15	14:15	13:30	14:15	14:15

(重複B：3年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	自立活動(9)				
2	自立活動	自立活動	自立活動	学級活動 ／ 道徳	自立活動
3	生活	自立活動	生活	自立活動	図画工作
4	生活	自立活動	音楽	自立活動	音楽
給食・昼休み	自立活動(13.5) 3～6年				
5	自立活動	生活	自立活動	自立活動	生活
6					
	生活(13.5)				
下校	14:15	14:15	14:15	14:15	14:15

(重複B：4～6年)

	月	火	水	木	金
1	生活(36)				
	自立活動(9)				
2	自立活動	自立活動	自立活動	学級活動 ／ 道徳	自立活動
3	図画工作	自立活動	音楽	生活	生活
4	自立活動	自立活動	生活	自立活動	生活
給食・昼休み	自立活動(13.5) 3～6年				
5	生活	自立活動	自立活動	自立活動	音楽
6					自立活動
	生活(13.5)				
下校	14:15	14:15	14:15	14:15	15:15

訪 問 課 程
(訪問: 1 ～ 6 年)

	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
給食・昼休み					
5			生活単元学習		生活単元学習
6			自立活動		自立活動

中学部 日課表

中学部 単一学級

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	学級活動	保健体育（トレーニング）			
2	国語	数学	国語	数学	学級活動
3	音楽	社会	職業・家庭	職業・家庭	美術
4	保健体育	理科	職業・家庭	職業・家庭/道徳	美術
給食・昼休み					
5	職業・家庭	生活単元学習	自立活動	音楽	自立活動
6	職業・家庭			学級活動	総合的な学習
日常生活の指導（10分）					
下校	15:15	14:20	14:20	15:15	15:15

中学部 重複学級 A

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	学級活動	自立活動			
2	国語	数学	国語	数学	学級活動
3	音楽	社会	職業・家庭	職業・家庭	美術
4	保健体育	理科	職業・家庭	職業・家庭/道徳	美術
給食・昼休み					
5	職業・家庭	生活単元学習	自立活動	音楽	自立活動
6	職業・家庭			学級活動	総合的な学習
日常生活の指導（10分）					
下校	15:15	14:20	14:20	15:15	15:15

中学部 重複学級 B

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導	日常生活の指導			
	学級活動				
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	学級活動
3	音楽	社会	自立活動	自立活動	美術
4	保健体育	理科	自立活動	自立活動/道徳	美術
給食・昼休み					
5	自立活動	生活単元学習	自立活動	音楽	自立活動
6	自立活動			学級活動	総合的な学習
日常生活の指導（10分）					
下校	15:15	14:20	14:20	15:15	15:15

高等部日課表

1 年生

I 課程

1 休 日	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	職業(メンテナンス)	保健体育(トレーニング)	職業	保健体育(トレーニング)	保健体育
		職業 (作業)	数学	職業 (作業)	
			国語		
			総合的な探究／道徳		
2	L H R				
給食 昼休み					
5	理科／社会	国語／外国語	美術	自立活動	家庭
6	生活単元学習			音楽	
下校	15:15	14:20	15:15	15:15	15:15

II 課程

日 課 性	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動	保健体育(トレーニング)	自立活動	保健体育(トレーニング)	保健体育
3		職業 (作業)	数学	職業 (作業)	
4			国語		
5	国語		総合的な探究／道徳		自立活動
6	L H R				数学
	給食 昼休み				
5	生活単元学習	生活単元学習	美術	自立活動	家庭
6				音楽	
下校	15:15	14:20	15:15	15:15	15:15

III 課程

立休性	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	保健体育
3		生活単元学習	保健体育	生活単元学習	自立活動
4	L H R	自立活動	総合的な探究／道徳	自立活動	
	給食 昼休み				
5	自立活動	生活単元学習	美術	自立活動	自立活動
6	生活単元学習			音楽	
下校	15:15	14:20	15:15	15:15	15:15

2年生
Ⅰ 課程

1 保健	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	職業(メンテナンス)	保健体育(トレーニング)	職業	保健体育(トレーニング)	保健体育
		職業 (作業)	数学	職業 (作業)	
			国語		
			総合的な探究／道徳		
2	国語				音楽
3	L H R				数学
4	給食 昼休み				
5	美術	国語／外国語	家庭	理科／社会	職業
6				生活単元学習	自立活動
下校	15:15	14:20	15:15	15:15	15:15

Ⅱ 課程

日 時 性	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	自立活動	保健体育(トレーニング)	自立活動	保健体育(トレーニング)	保健体育
		職業 (作業)	数学	職業 (作業)	
			国語		
			総合的な探究／道徳		
L H R				数学	
	給食 昼休み				
5	美術	生活単元学習	家庭	生活単元学習	自立活動
6					
下校	15:15	14:20	15:15	15:15	15:15

Ⅲ 課程

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	保健体育
3		生活単元学習	保健体育	生活単元学習	音楽
4	L H R	自立活動	総合的な探究／道徳	自立活動	自立活動
	給食 昼休み				
5	美術	生活単元学習	自立活動	自立活動	自立活動
6				生活単元学習	
下校	15:15	14:20	15:15	15:15	15:15

3年生
Ⅰ 課程

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	職業(メンテナンス)	保健体育(トレーニング)	職業	保健体育(トレーニング)	保健体育
3		職業 (作業)	数学	職業 (作業)	理科/社会
4			国語		
	LHR		総合的な探究/道徳		数学
	給食 昼休み				
5	家庭	国語/外国語	音楽	職業	美術
6			生活単元学習	自立活動	
下校	15:15	14:20	15:15	15:15	15:15

Ⅱ 課程

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動	保健体育(トレーニング)	自立活動	保健体育(トレーニング)	保健体育
3		職業 (作業)	数学	職業 (作業)	生活単元学習
4			国語		
	LHR		総合的な探究/道徳		数学
	給食 昼休み				
5	家庭	生活単元学習	音楽	自立活動	美術
6			生活単元学習		
下校	15:15	14:20	15:15	15:15	15:15

Ⅲ 課程

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	保健体育
3		生活単元学習	保健体育	生活単元学習	自立活動
4		自立活動	総合的な探究/道徳	自立活動	
	LHR				
	給食 昼休み				
5	自立活動	生活単元学習	音楽	自立活動	美術
6			生活単元学習		
下校	15:15	14:20	15:15	15:15	15:15

令和 8 年度

Ⅷ 人権教育年間計画

大分県立日出支援学校

Ⅷ 人権教育年間計画

1 基本方針

- ・ 自分の思いを表現する力を育てるとともに、豊かな感性を培う。
- ・ 人との関わりを通して、相手を思いやる意欲や態度、技能を育てる。
- ・ 児童生徒一人一人の能力や特性を最大限に伸ばし、発達段階に応じたキャリア教育の視点を取り入れ、自己実現できるような進路保障を図る。
- ・ 一人一人の児童生徒の思いを受け止め、個々の思いに沿った学習活動や学校生活が保障できるような環境づくりに取り組む。(合理的配慮の視点)
- ・ 校内外の研修会に積極的に参加し、研修を深め、人権を尊重する教育実践に取り組む。

2 めざす児童生徒像

- ・ 元気に活動し、自分でできることは自分でする児童生徒
- ・ 自分の考えや気持ちを伝え、友だちと仲良くする児童生徒
- ・ 力いっぱい最後までがんばる児童生徒

3 年間計画

	小学部	中学部	高等部
目標	・ 友だちとなかよくすることの良さに気付き、自分を大切にし、相手を思いやる気持ちを育てる。	・ お互いの良さを知り、思いやりを持ち協力し合おうとする態度を育てる。	・ 生徒それぞれの発達段階に応じて、人権に対する感性や知識を身につける。
題材 (実施時期・指導の形態)	【低学年 (道徳)】 「平和について知ろう」(6・7月) 「友だちとなかよくしよう」(10・11月) 「自分のいいところ」(2・3月) 【高学年 (道徳)】 「平和について考えよう」(6・7月) 「言葉の力について考えよう」(10・11月) 「自分ものがたり」(12・1月) 「みんな違ってみんないい」(2・3月)	【全学年 (道徳)】 「お互いのこと、クラスのことを話し合おう。」(4・5月) 「よいこと悪いことについて考えよう。」(6・7月) 【3年生】 「命の大切さを知ろう」(11月・12月) 「周りの人に感謝の気持ちを伝えよう」(1・2・3月)	【全学年 (道徳)】 「平和、命の尊さについて考えよう」(6・7月) 「相手の気持ちを尊重したコミュニケーション方法について考えよう」(9月) 「感謝の気持ちを伝えよう」(1・2・3月)
めあて	・ 自分の命の大切さに気付く。 ・ 友だちと互いに理解し合い、思いやる気持ちを持つ。 ・ 平和とはどのようなことなのか知り、なかよくするために自分たちができることを考え、行動しようとする気持ちを持つ。	・ 自分のことを伝えあい、自他を大切にできる気持ちを持つ。 ・ 誰のいのちもかけがえのないものとして、大切にしようとする気持ちを持つ。 ・ 感謝の気持ちを、言葉や動作などで伝えることができる。	・ 命の尊さに気付くことができる。 ・ 自分の思いや気持ちを、相手に伝えることができる。 ・ 相手の思いや気持ちを知り、自分との違いや共通点などに気付くことができる。
内容	・ 自分のいいところを考えたり、家族や友だちから認めてもらったりする。 ・ 自分がされて嬉しいこと、嫌なことを考えて、相手の気持ちを知る。 ・ 平和についての絵本を見たり、話しを聞いたりする。	・ 自分たちの好きなことを考え、相手に伝わるような話し方をする。 ・ きまりや命についての絵本や動画を見て、自分や身近な人の命について考える。 ・ 自分が関わっている人のことを考え、感謝の気持ちを伝える方法を考える。	・ コミュニケーションゲーム等を通して、互いの思いを伝え合う。 ・ 相手を理解するための具体的な方法について、生徒で話し合う。

4 人権学習

各学部や学級、個別に取り組む。実態に応じて機会を捉えて実施したり、学部で系統的に学習したりする。

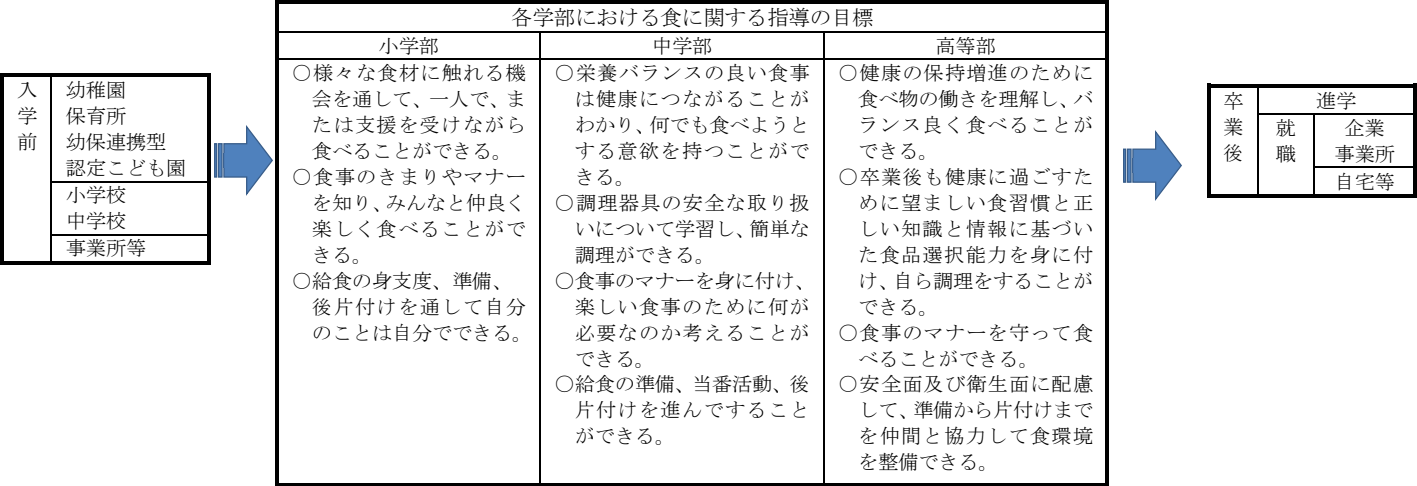
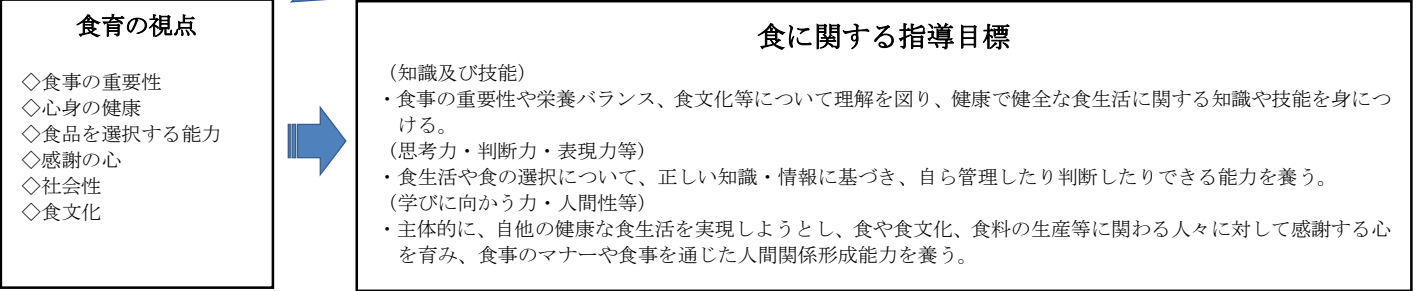
令和 8 年度

Ⅸ 食に関する指導の 全体計画

大分県立日出支援学校

Ⅸ 食に関する指導の全体計画

児童生徒の実態	学校教育目標	関係法規
・朝ごはんを食べている児童生徒 87.8% ・毎日排便がある児童生徒 54.1% ・よく噛むことを意識している児童生徒 63.5% ・嫌いな食べ物がある児童生徒 77% 適切な食習慣が身につけていないことにより、生活習慣病等の心配がある。	主体的に自ら生きる力を備えた、心豊かで積極的に社会参加・自立をめざす児童生徒の育成	・教育基本法・学校教育法 ・食育基本法・学習指導要領 ・食に関する指導の手引き -第二次改訂版- ・摂食指導の手引き - 実践編 - ・第4期大分県食育推進計画



食育推進組織（給食委員会）

委員長：校長

委員：教頭・主幹教諭・学部主事・保健主任・栄養教諭・養護教諭

※必要に応じて学校医・薬剤師の参加

食に関する指導

教科等における食に関する指導：関連する教科等において食に関する視点を位置づけて指導

各教科等を合わせた指導、各教科、特別の教科 道徳、特別活動（学級活動）、自立活動

給食時間における食に関する指導：献立を通して学習、教科等で学習したことを確認

給食指導：準備から片付けまでの一連の指導の中で習得

個別的な相談指導、個別対応食の実施：形態食・食物アレルギー対応食・こだわり食

担任との連携：個別的教育支援計画・個別の指導計画

児童生徒・保護者：個別の栄養相談（疾患、肥満、やせ、食物アレルギー、偏食）

地場産物の活用

給食委員会にて活用計画を確認する。

地場産物等の指導資料や掲示物を使用した給食時の指導の充実、教科等の学習や体験活動との関連を図る、農園で栽培した野菜の給食への活用と校内掲示。

家庭・地域・事業所との連携

学校だより・食育だより・保健だより・学校給食試食会・学校保健委員会・支援会議・学校評議委員会

食育推進の評価

・活動指標：食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整

・成果指標：児童生徒の変容、保護者・地域の実態

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
行事等		入学式	遠足 体育発表会	宿泊学習(高1)			修学旅行(高2)	給食試食会 修学旅行(小5・6) 宿泊学習(中1・2)	学習発表会				卒業式	
推進体制 給食委員会	進行管理	給食委員会											学校保健委員会	
	計画作成	計画策定						評価・分析					次年度計画案完成	
教科等	発達段階		1段階の指導内容				2段階の指導内容				3段階の指導内容			
	小学部	生活	ア 基本的生活習慣 ・教師と一緒に食事の前に手洗いやエプロンの着替えをする。 ・配膳が終わるまで、その様子を見ながら静かに待つ。 ・食事の挨拶のしぐさをする。 ・使いやすい道具を使って、教師の支援を受けながら飲んだり食べたりする。 ・食べられる食材、料理を増やす。 ・姿勢よく食べる。 カ 役割 ・教師と一緒に挨拶当番や台拭き、配膳など、できる係活動をする。 サ 生命・自然 ・植物を育て、成長や変化に気付く。				ア 基本的生活習慣 ・食事前や食事中汚れたときは手を洗う。 ・台拭きや配膳に関わる準備をする。 ・自分の食器の片付けをする。 ・こぼさないように気をつけながら一人で食べる。 ・できるだけバランス良く食事をする。苦手なものは、食べる前に教師と量を調整して食べる。 ・食材や食品や献立の名前を覚える。 ・食事のマナーに気をつけて食べる。 カ 役割 ・教師の指示を聞きながら、一人でできる係活動をする。 サ 生命・自然 ・生き物は、食べ物を食べて成長することを知る。				ア 基本的生活習慣 ・簡単な食事の準備（エプロンの着替え、手洗い、配膳等）や後片付けを周りの状況を確認しながら、一人で行う。 ・箸を使い、こぼすことなく落ち着いて食べる。 ・健康な身体づくりを意識して食べる。 ・好きな献立の名前を言う。 ・マナーを守って、一人で食べる。 カ 役割 ・自分で係活動をする。 サ 生命・自然 ・植物を育て、発芽、開花、結実といった一連の成長の様子が分かる。			
		特別の教科道徳	・調理に関わってくれた人に感謝し、「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をする。・自分でできることは自分でやり、節度ある生活をする。											
	発達段階		1段階の指導内容				2段階の指導内容							
	中学部	社会	エ 産業と生活 ・校外での買い物学習等、体験活動をととして、お店の様子を知るとともに、消費について触れることができる。				エ 産業と生活 ・職場体験等、体験活動をととして、収穫した作物が加工されて商品になることを知る。							
		理科	A 生命 ア 身の回りの生物 ・農作業等、野菜の栽培をととして植物の成長を知り、収穫をすることができる。				A 生命 ア 身の回りの生物 ・人体の部位の名称がわかり、骨と筋肉で身体を動かすことができることを知る。							
		職業・家庭 (家庭分野)	B 衣食住の生活 ア 食事の役割 ・身近にある食品や食材の名前がわかる。 ・食事は健康を保ち、身体の成長や活動のもとになることを知る。 イ 調理の基礎 ・冷蔵庫の使い方を知ったり、包丁などの刃物を安全に取り扱ったりすることができる。				B 衣食住の生活 ア 食事の役割 ・主食、主菜、副菜などについて知る。 イ 栄養を考えた食事 ・健康の維持に必要な栄養や適切な食事量を知る。 ・栄養を考え、いろいろな食品をバランスよく食べる。 ウ 調理の基礎 ・食品の洗いや、切り方を知り、簡単な調理をすることができる。 ・魚や肉、野菜などの生の食品について、安全で衛生的な扱いができる。							
		保健体育	H 保健 ・教師の支援を受けながら、うがいや手洗いなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。				H 保健 ・食べ過ぎないことやバランスのとれた食事を摂ることなど、健康な生活を送ることに必要なことについて理解をする。							
		特別の教科道徳	・健康や安全に気を付け、身の回りを整え、規則正しい生活をする。 ・家族など日ごろ世話になっている人々に感謝をする。 ・生命の尊さを知り、生命あるものを大切にする。											
	発達段階		1段階の指導内容				2段階の指導内容							
	高等部	社会	エ 産業と生活 ・我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることを知る。 ・我が国のどこの地域でどのような種類の食料が生産されているかを調べる。 カ 外国の様子 ・外国の人々の食文化に触れる。				エ 産業と生活 ・我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、私たちの生活のための食料を確保するという重要な役割があることを知る。 ・生産物の種類や生産量の変化などを調べながら、食料生産が私たちの生活に果たす役割を考える。 カ 外国の様子 ・外国の人々の生活の様子などに注目して、日本の食文化や食習慣との違いに触れる。							
		理科	A 生命 ア 植物の発芽、成長、結実 ・植物の発芽には水、空気、温度、植物の成長には日光、肥料などが関係していることを知る。 ・植物は受粉により実がなり、実の中に種子ができることなどの育ち方を理解する。				A 生命 ア 人の体のつくりと働き ・食べ物は、口、胃、腸などを通りながら消化、吸収され、吸収されない物は排出されることを理解する。 ・体内には摂取した栄養を吸収し、生命活動を維持するための様々な臓器があることを知る。							
		職業	A 職業生活 イ 職業 ・職業生活で必要とされる食生活等の実践的な知識について理解する。 ・職業生活に必要な健康管理の仕方について知る。				A 職業生活 イ 職業 ・職業生活で必要とされる食生活等の実践的な知識や技能を身につける。 ・職業生活に必要な健康管理の仕方について考える。							
		家庭	B 衣食住の生活 ア 食事の役割 ・生活の中での食事の役割について理解する。 ・健康によい食習慣について考える。 イ 日常食の調理 ・用途に応じた食品の選択、食品や調理用器具等の管理などについて知り、簡単な日常食の調理ができる。				B 衣食住の生活 ア 必要な栄養素を満たす食事 ・自分に必要な栄養素の種類と働きが分かる。 ・一日分の献立を考える。 イ 日常食の調理 ・用途に応じた食品の選択、食品や調理用器具等の安全と衛生に留意した管理などについて知り、簡単な日常食の調理ができる。							
		保健体育	I 保健 ・心身の発育や発達、疾病予防等に必要な知識を理解する。				I 保健 ・心身の発育や発達、疾病予防等に必要な知識の理解を深め、健康で安全な社会生活を営むための技能を身につける。							
		特別の教科道徳	・社会生活において望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図る。 ・自分でできることは自分でやり、地域の中で節度ある生活をする。											
自立活動		・毎日の規則正しい生活リズムを確立する・・・「健康の保持」「心理的な安定」 ・適度な運動を行い、肥満防止に必要な生活習慣について理解、実践する・・・「健康の保持」「心理的な安定」「身体の動き」 ・情緒を安定させ、自分の気持ちや思いを他人に伝える手段を身につけ、集団での活動に参加できるようになる・・・「心理的な安定」「人間関係の形成」「コミュニケーション」 ・摂食機能の向上・・・「健康の保持」「身体の動き」												

		学部	1学期				2学期				3学期		
特別活動	学級活動	小学部	○給食を知ろう「皮むき体験」「調理室探検」				○野菜を知ろう						
		中学部	○食の学習①栄養バランスの良い食事（赤・黄・緑）				○食の学習②安全な食品の選び方						
	L H R活動	高等部	※各教科（保健体育、家庭）にて実施する。										
	児童生徒会活動	全学部	全校集会 学部集会 保体委員会										
	学校行事	全学部					修学旅行 学習発表会				学校給食週間		
給食の時間	給食指導	小学部	・食事のマナーを知ろう ・よく噛んで食べよう ・給食の決まりを覚えよう				・食べ物を大切にしよう				・感謝して食べよう ・楽しく食べよう ・1年間の給食を振り返ろう		
		中学部 高等部	・正しい食事マナー ・準備、後片付けの仕方 ・給食の身支度・手洗いの励行				・給食時間の過ごし方 ・準備・後片付けの協力の仕方 協力体制 ・給食当番と当番以外の効果的な動き				・食事のあいさつ ・会話のマナー		
		全学部	正しい姿勢で、ひと口ずつ、よく噛んで食べよう										
	食に関する指導	小学部	給食を知ろう 食べ物の名前を知ろう 食べ物に関心を持とう						・食材や行事に関する配布資料を用いた指導 ・実物の食材等の展示や掲示物を用いての指導				
		中学部 高等部	食べ物と健康について知ろう バランスの良い食事 食べ物の体内での働き（赤・黄・緑）						・栄養黒板等掲示物を活用した指導伝統的食文化（郷土料理・行事食） ・配布資料を用いた指導 ・食材や献立に関連する展示物、掲示物を用いての指導				
学校給食の関連事項		4月	5月	6月	7月	8月・9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
	月目標	食事のマナーを知ろう	よい姿勢で食べよう	よく噛んで食べよう	朝ごはんを食べよう	好き嫌いをしないで食べよう		食べ物の働きを知ろう	地域の食べ物や郷土料理について知ろう	寒さに負けない体をつくろう	感謝して食べよう	楽しく食べよう	食生活を振り返ろう
	食文化の伝承		端午の節句献立		七夕献立 地場産物夏野菜カレー		中秋の名月献立		地場産物献立	冬至の献立		節分献立	
	行事食	入学進級お祝い献立		虫歯予防献立			野菜たっぷり給食	目の愛護デー献立 うま塩献立	いい歯献立 学校給食1日まるごと大分県	クリスマス献立	学校給食週間行事献立	卒業生リクエスト献立	卒業お祝い献立
	旬の食材	菜花 春キャベツ スナップエンドウ たけのこ ふき 新たまねぎ 新じゃがいも	アスパラガス たけのこ わらび かつお そら豆 グリンピース 新茶 ごぼう	じゃがいも アスパラ にら メロン うめ ごぼう ビーマン 鰯 いんげん	おくら なす かぼちゃ きゅうり ビーマン トマト えだまめ とうもろこし ゴーヤ	なし なす トマト ビーマン とうがん ぶどう	なす さんま さけ きのこ さつまいも りんご ぶどう くり さといも かぼす	さんま さけ きのこ さつまいも りんご なし ドラゴンフルーツ かぼす	新米 さんま さけ さば さつまいも 大根 みかん りんご	大根 白菜 かぶ ほうれんそう みかん りんご 根深ねぎ キャベツ	かぶ 白菜 大根 根深ねぎ ブロッコリー ほうれんそう みかん 春菊 ぼんかん	ブロッコリー 大根 白菜 ほうれんそう みかん	ブロッコリー ほうれんそう きよみ 菜花 みつば 春キャベツ スナップエンドウ
	地場産物	スナップエンドウ きくらげ キャベツ きゅうり ねぎ 乾しいたけ 新たまねぎ	きくらげ きゅうり 乾しいたけ グリンピース そら豆	ミニトマト きくらげ じゃがいも 乾しいたけ きゅうり	きくらげ とうもろこし じゃがいも かぼちゃ 乾しいたけ きゅうり	なし きくらげ きゅうり かぼちゃ ぶどう 乾しいたけ	なし きくらげ きゅうり 乾しいたけ	大根 ドラゴンフルーツ みかん きくらげ しいたけ 乾しいたけ	きくらげ みかん 乾しいたけ	きくらげ みかん 乾しいたけ	きくらげ みかん 乾しいたけ	菜花 みつば 春キャベツ きゅうり きくらげ 乾しいたけ	
	農業実習農産物			じゃがいも たまねぎ	じゃがいも たまねぎ				大根				
個別的な相談指導		個別の指導計画 個別の教育支援計画 個別の栄養指導 対応給食の実施（食物アレルギー食・こだわり食・形態食） 各職員との連携											
家庭等・地域の連携・事業	たより	朝食の大切さ 運動と栄養 夏休みの食生活				朝食の大切さ 地場産物の良さ 和食について				朝食の大切さ バランスの取れた食生活 風邪の予防			
	行事等							給食試食会			給食感謝の会		
	年間	学校評議員会 学校保健委員会											